

仕様書

高知市野球場スコアボード基礎設置他

工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所

高知市 大原町 158番地

2. 敷地面積

m2

3. 工事種目

1) スコアボード基礎工事
2) バックスクリーン工事
3) 周辺整備工事
4) 解体工事

4. 別途工事

電気設備工事 (スコアボード本体工事) 機械設備工事 ガス設備工事
昇降機設備工事 植栽工事 合併処理装置設置工事 外構工事

5. 概成工期

完成期限の 10 日前 (平成 年 月 日)

II 建 築 工 事 仕 様

1. 図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て建設大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書（平成9年版）」及び「建築改修工事共通仕様書（平成10年版）」による。

2. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する。
●印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。
●印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「建築工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章

項 目

特 記 事 項

8

建築材料等

本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。（記載順序は不同）また、「評価名簿による」と特記されたものについては、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。
ただし、同等とする場合は、監督職員への承諾を受ける。

9

特別な材料の工法

建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員への承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。

10

完成図（施工図・施工計画書を除く）

種類及び記入内容 ※表 1.7.1 による (1.7.2)
様式等 1.7.2(b) による ※A3版マイラー
C A D により作成し、データで提出（C A D データの貸与 有 無）

11

施工図・施工計画書

1 章 7 節に定める施工図、施工計画書として、以下のものを提出する。 (1.7.1)(1.7.2)
鉄筋配筋図（納まり図含む） コンクリート躯体図 鉄骨製作図
カーテンウォール製作図 カーテンウォール施工計画書
施工図の記載内容及び記載水準は、「建築・設備工事施工図の描き方（建設大臣官房官庁営繕部監修、平成元年3月）」に準じたものとする。
提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

12

保全に関する資料

提出部数 ※1部 (1.7.3)

13

完成写真

下記のものを原版とも監督職員に提出する。（※カラー モノクローム）

位 置	分類・規格	撮影枚数	部 数	原版の大きさ（mm）	
各 室	手札版（L 版）	※ 2 枚	枚 ※ 1 部	部	※ 100 × 125 以上
外 部	キャビネ版	※ 4 枚	枚 ※ 1 部	部	24 × 36 以上
外 部	半切パネル	※ 1 枚	枚 ※ 1 部	部	
	スライド	枚	※ 1 部	部	24 × 36 以上

撮影業者は監督職員への承諾する撮影業者とし、撮影箇所は監督職員と協議する。
半切りパネルの枠の質 木製枠 アルミ枠

14

工事写真

工事写真はE版とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。（A4版台紙）
（工事検査時の写真はネガ共に提出する）
撮影方法は、建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方建築編」による。

15

工事日報

着工日から完成日までで工事内容、材料、機材、作業員出役状況、打合せ事項、監督職員への指示事項、検査等必要事項を記入のうえ1部提出する。なお、工場加工人役等も別記する。

16

火災保険

出来高による中間支払い請求時に火災保険を締結するものとし、契約金額は前払金を含むものとする。受取人は高知市長とし契約工期以後（20日、30日）を越える日数を保険期間とする。

17

下請負者の報告

各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。

18

建設業退職金共済加入証紙の貼り付け

工事現場で就労する作業員に証紙を交付するよう努める。又掛金納付書を契約担当課に提出する。

19

統括安全衛生管理義務者の指名

労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。 (1.3.6)

20

事業損失補償

地盤変動を原因とする建築物等の事業損失補償は高知市が定める事務要領による。
予め覚書締結を指定する工事
工事施工中及び完了後損害が発生した場合、その時点で覚書を締結する工事

21

契約保証

※金銭的保証方式 役務的保証方式

2

仮設工事

1 監督職員事務所

※設ける(号) 設けない (2.3.3)(表2.3.1)

2 監督職員事務所の備品等

備品等の設置 (2.3.3)

備品の種類	机・椅子	書 棚	黒 板	製図板	掛時計
数 量	組	台	枚	台	個
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯
数 量	個	足	着	個	個
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消 火 器	湯 沸 器	加入電話の付属器
数 量	人用	台	個	台	台
備品の種類	掃 除 具				
数 量	個				

3

工事用水・電力

構内既存の施設（用水）利用できる（有償 無償） ※利用できない
構内既存の施設（電力）利用できる（有償 無償） ※利用できない
※ 既存施設の他にさらに必要となった場合には請負業者負担とする
※図示

4

仮囲い

5

整地・跡片付

※原形の復旧
良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲（ ）厚さ（ ） (2.4.1)

章

項 目

特 記 事 項

3

土工事

1

埋戻し及び盛土

種別 A種 ※B種 C種 D種 (3.2.3)(表3.2.1)

2

建設発生土の処理

※構外搬出適切処理（処理地に法的規制のない旨を監督職員に報告する） (3.2.5)
構内指示の場所に敷き均し
構内指示の場所にたい積
構外指示の場所に処分（搬出調書等を提出する）
受入れ施設名：
受入れ場所：
仮置き場所：

4

地業工事

1

先端翼付き回転貫入鋼管杭

使用材料
※ J I S A 5525 S K K 490
寸法及び継手

	杭 径（mm）	杭長（mm）及び種類	継手数	セット数	備考
試験杭	φ508×9	上杭11.5m＋下杭10.0m	1	1	本杭兼用
本 杭	φ508×9	上杭11.5m＋下杭10.0m	1	1 1	

先端翼 φ1016.0 T=45 S M 570
杭 頭 頭付きスタッド 16－φ19

2

先端羽根付き鋼管杭

使用材料
※ J I S G 3444 S T K 400
寸法及び継手

	杭 径（mm）	杭長（mm）及び種類	継手数	セット数	備考
試験杭	φ190.7×7	全長8.6m	1	1	本杭兼用
本 杭	φ190.7×7	全長8.6m	1	9	

先端羽根 φ400 T=16 S S 400
杭 頭 頭付きスタッド 12－φ16

3

砂利地業

材料 ※切込み砂利、切込み砕石 ※再生クラッシャーラン（直接基礎下を除く） (4.5.2)
厚さ ※図示 60 (4.5.4)

4

床下防湿層

施工箇所 ※建物内土間スラブ及び土間コンクリート下（ビット下を除く）
図示 (4.5.6)
ポリエチレンフィルムの厚さ ※0.15mm
ポリスチレンホームの厚さ ※25mm

5

地盤の載荷試験

試験位置（ 箇所） ※図示 (4.6.3)
試験深さ 設計G Lより（ ）m
試験対象土質
最大荷重（ ）t
試験の方法は、「敷地調査共通仕様書」4章9節による

5

鉄筋工事

1

鉄筋の種類

種類の記号 径（mm） 使用箇所 (5.2.1)(表5.2.1)
※ SD295A D-10～D-16 図示による
※ SD345 D-19～D-22 図示による
SD390

2

溶接金網

網目の形状、寸法 鉄線の径（mm） (5.2.2)

3

鉄筋の継手

部 位 接 合 方 法 径（mm） (5.3.1)(表5.3.1)
柱・梁の主筋 ※ガス圧接
その他 ※重ね継手

建 築 ■
設 計 群
■ 無 垢

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第 915 号
一級建築士 第 271248 号 東 哲也

課 長 補 佐 係 長 設 計 作 成 図面番号

高知市 都市整備部 建築課
高知市野球場スコアボード基礎設置他工事
仕様書(1) 縮 尺 1 / 作 図 年 月 日
A / 1

1 級 建 築 士 登 録 第 91035 号 建 築 課 長 山 崎 宏 明 12.07 図 面 名

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項			
	④鉄筋のかぶり厚さ	※かぶり厚さは目地底から算定する。 ・耐久上不利な箇所のかぶり厚さは下表による。(5.3.2) 施 工 箇 所 等表 5.3.6 の値に加える数値(mm) 柱, 梁, 壁及び底等の外気に接する打増し面※10		⑧打放し仕上げの種別	※せき板の材料として合板を用いる場合(6.2.5)(6.6.7)(6.9.3)(表6.2.3) 種 別施 工 箇 所 ○A種コンクリート見出し部分全て ・B種 ・C種 ・せき板の材料として合板を用いない場合 建設技術評価「鉄筋コンクリート建築物等における床型枠用鋼製デッキプレート の開発」において評価を取得したもの又は評価名簿によるもの 使 用 箇 所厚 さ備 考	8コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1補強コンクリートブロック造	(8.2.2) ブロックの種類厚 さ(mm)化粧前のブロックの適用箇所 ※空洞ブロック 16 ・型枠用ブロック 20			
	⑤杭頭補強	・A形 ※B形 ○図示(5.4.1)(図5.4.1)		9床型枠用鋼製デッキプレート	2コンクリートブロック帳壁及び塀		種類 ※表 8.3.1 厚さ (mm) 塀の高さ (m)厚 さ (mm)化粧前のブロックの適用箇所 2 以下※120 2 を超える※150				
	6柱頭の定着方法	※図示(5.5.1)			3ALCパネルの種類		(8.4.2～8.4.5)(表8.4.2)(表8.4.3) 種 類単位荷重(N/m ²)厚さ(mm)取付け工法種別 ・外壁パネル・1177・1961※100 ・間仕切壁パネル・637 ・屋根パネル・981 ・床パネル・2354・3530・100・150 出隅入隅部の目地幅 (mm)※20				
	7帯筋	形の種別 ※H形・W－I形・W－II形(5.5.2)(図5.5.2)					4押出成形セメント板	(8.5.2～8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2) 施 工 箇 所表 面 形 状厚さ(mm)取付け工法種別 ・外壁パネル※フラットパネル・35・50・60 ・デザインパネル (図示)・50・60 ・タイルベースパネル・60 ・間仕切壁パネル※フラットパネル・35・50・60 ・デザインパネル (図示)・50・60 ・タイルベースパネル・60			
	8柱,梁の打増し補強(200mmを超過する場合)	※図示・図5.5.4, 図5.6.11(5.5.3)(5.6.3)					9防水工事	1アスファルト防水	工法の種別(9.2.3)(表9.2.5～表9.2.11) 種 別施 工 箇 所種 別施 工 箇 所 7スファルトの種類※3種・4種 断熱材 材種※JIS A9511 押出法※リフレフォーム3種b スク層付き (特定フロンを含まないもの) 厚さ (mm)※25・50 保護レング※JIS R1250 (普通レング) 2種 立上がりコンクリートの打放し仕上げ※表 6.2.3 B種 脱気装置・設ける 種類 () 数量 () (表9.2.10) ・設けない		
	9梁貫通孔の補強	※H形・MH形・M形(図5.10.1)(5.10.1) ※建設技術評価制度「鉄筋コンクリート造の梁貫通補強材の開発」において評価を取得したもの又は(財)日本建築センターの評価を受けたもの							2合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種別(9.3.2)(表9.3.1) 種 別厚 さ (mm)仕上塗料 (露出の場合)施 工 箇 所 ・S－1※1.2 ・S－2※2.0 ・S－3※2.0 ・S－4※1.5 塗膜防水の種別(9.4.3)(表9.4.1)(表9.4.2) 種 別施 工 箇 所種 別施 工 箇 所 ウレタン系塗膜防水 (X－1) の脱気装置 ・設ける 種 類材 質設 置 数 量 ・平面部脱気型・ポリエチレン樹脂・ABS樹脂 ・ステンレス・鋳鉄 個 / m ² ・設けない ゴムアスファルト系塗膜防水 (Y－2) の保護層 ・設ける・設けない	
	10機械吊上げ用フック	・A種・B種・C種(5.10.3)							3塗膜防水		
	11圧接完了後の試験	試験方法・超音波探傷試験※引張試験(5.11.9)									
	6①設計基準強度等	普通コンクリート(6.1.4) 設計基準強度 F0(kg/cm ²)スランブ (cm)適 用 箇 所 ⊗21015重力式擁壁、均しコンクリート以外の全て ○21012重力式擁壁 軽量コンクリート(6.1.4) 設計基準強度 F0(kg/cm ²)スランブ (cm)適 用 箇 所 ※210 無筋コンクリート(6.14.2) 粗骨材の最大寸法 (mm) (均しコンクリート及び防水の保護コンクリートの場合)※25 適用箇所 ※6.14.1による・6.14.1の他は次による(6.14.1) 種 類発注強度 (N/mm ²)スランブ (cm)施 工 箇 所 ⊗普通コンクリート⊗15⊗15・18均しコンクリート		9アンカーボルトの保持及び埋込み工法	種別○A種※B種・C種(7.10.3)(表7.10.1)						
	②レデーミクストコンクリートの類別	※I類・II類(6.1.5)(表6.1.1)		10柱底均しモルタル	種別○A種※B種 無収縮モルタルの製造所 評価名簿による(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)						
	③セメントの種類	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種(6.3.2)(6.13.2)(6.16.2) 上記普通ポルトランドセメントは、JIS R5210 (ポルトランドセメント) に示された規定の他、次の規定に適合するものとする。 水和熱は7日目で 84cal/g 以下、28日目で 96cal/g 以下とする。 ・高炉セメントのB種		11鉄骨の製作工場	※「鉄骨製作判定基準」に適合する製作を行う製作工場又は建設省告示第1103号に基づき建設大臣が認定した製作工場 ・Hグレード・Mグレード○Rグレード・Jグレード ・S類・A類・B類・C類 ・監督職員の承諾する工場						
6コンクリート工事	④骨材	砂利及び砂(JIS A5308)の7%加減反応性による区分※A・B(6.3.3) 砕石及び砕砂(JIS A5005)の7%加減反応性による区分※A・B(6.3.3) 細骨材の塩分含有量 (%)※0.04以下	②溶融亜鉛めっき	種別※A種適用箇所バックスクリーン部材全て(7.12.3)(表14.2.2)							
	5軽量コンクリート	(6.11.1)(表 6.11.1) 種 別所要気乾単位容積重量 (t/m ³)適 用 箇 所									
	⑦コンクリートの仕上がり	・部材の位置及び断面寸法の許容差 ※表 6.2.2 による ・仕上がりの平たんさ ※6.2.5(b) による(6.2.5)(表6.2.2) (6.2.5)(表6.2.4)									
建 築 ■ 設 計 群 ■ 無 垢			高知市 都市整備部 建築課			工 事 名 高知市野球場スコアボード基礎設置他工事			課 長 補 佐 係 長 設 計 作 成 図面番号		
一級建築士事務所 高知県知事 登録 第 915 号 ■ 無 垢 一級建築士 第 271248 号 東 哲 也			1 級 建 築 士 登 録 第 91035 号 建 築 課 長 山 崎 宏 明 12.07			図 面 名 仕様書(2) 縮 尺 1 /			作 図 年 月 日 A / 2		

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項			
4	シーリング	シーリング材の種類 (9.5.2)(表9.5.1)(22.2.2)(22.3.2) 記 号 耐久性区分 主成分による区分 施 工 箇 所 ・SR-1 9030G シリコン系 ・SR-2 10030 ・MS-2 9030 変成シリコン系 バックスクリーン (ケイ酸板目透かし部) ・PS-2 9030 ポリサルファイド系 ・PU-2 8020 ポリウレタン系 ・AC-1 7020 アクリル系 シーリング材の目地寸法 ※図示及び 9.5.3 による (9.5.3) 接着性能試験 ※簡易接着性試験 (9.5.5) ・引張接着性試験 (部位) 5 成形伸縮目地材 製造所 評価名簿による (9.2.2) 6 保証書 アスファルト防水 請負者, 施工者, 材料製造所連名による 10 年保証 (完成日から) その他 請負者, 施工者, 材料製造所連名による 年保証 (完成日から)	12	1 表面仕上げの程度 木工事 2 木材 3 集成材 4 床張り用合板 5 防蟻処理 6 接着剤	・A種 ※B種 ・C種 (12.1.4)(表12.1.1) 木材の含水率 (現場搬入時) ※A種 ・B種 (12.2.1)(表12.2.1) 木材の材質 (12.2.1) 構 造 材 樹 種 等 級 施 工 箇 所 下 地 材 造 作 材 樹種は上表により, 12.2.1(C)の代用樹種は適用しない。原則として県内産材 (国産材であり県内で製材されたもの) とする。ただし, 平角の松等これにより難いものは除く。 ・構造用集成材 (12.2.2) 品 名 強度等級 材面品質 樹 種 接着性能 施 工 箇 所 ・造作用集成材 (12.2.2) 等 級 樹 種 単材の厚さ 施 工 箇 所 ※見掛けり1等, その他2等 ・化粧ばり造作用集成材 (12.2.2) 化粧単板の樹種 化粧単板の厚さ 施 工 箇 所 ・5.5mm 接着の程度 ※1類 (表面の品質 2等) (12.2.3) ・12.0mm ・行わない ※行う () (12.2.9) 使用薬剤製造所及び施工業者 (社団法人日本しろあり対策協会の正会員 (防除施工業者)) につ いて事前に監督職員に報告し, 承諾を得る。 日本建築学会及び日本しろあり対策協会標準仕様書に基づく責任施工とし, 薬剤製造所, 施工業 者及び請負者の連名による保証書 (完成日から5年) を提出する。 ・土壌処理 範囲 : 屋内1階部分全て 薬剤 : 非有機リン系薬剤 時期 : 基礎コンクリート工事が完了し埋戻し, てん圧が終わった時点 ・木部処理 範囲 : 1FL+1,000 以下の構造材, 構造下地材, 床組部, 床下地材のうら面 薬剤 : 非有機リン系薬剤 時期 : 床組材が取付けられて床板の取付けられていない時点 ・その他 施工に際しては, 社団法人日本しろあり対策協会認定の薬液で工事監理者 (一 般毒液物取扱者) の常駐による施工とする。 接着剤に含まれる可塑剤は, 難揮発性のものとする。 (12.2.6)	14	1 表面処理 金属 工事 2 軽量鉄骨天井下地 3 軽量鉄骨壁下地 4 金属成形板張り 5 アルミニウム製笠木 6 鋼製床下地	ステンレスの表面仕上げ (14.2.1) 表面仕上げの種類 施 工 箇 所 ※HL ・鏡面仕上げ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1) 表面処理の種別 施 工 箇 所 ・A-1種・A-2種 ・B-1種・B-2種 ・C-1種・C-2種 ・D種 鉄の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2) 種 別 施 工 箇 所 溶融亜鉛めっき ・A種・B種・C種 電気亜鉛めっき ・D種・E種・F種 野縁等の種類 (14.4.2) (表14.4.1) 屋内 ※19形 ・25形 屋外 ・19形 ※25形 屋外の軒天井, ピロティー天井等の補強 (14.4.4) ※行わない ・行う (・図示) スタッド, ランナー等の種類 (14.5.3) (表14.5.1) ※表14.5.1による (表14.2.1) 材 種 製法 形 状 寸法 (mm) 表 面 処 理 ・アルミニウム ・押出し 20×20×1.6形 板厚 ・B-1種 ・ロール 板幅 ・B-2種 (・アライ系 ・プレス パネル形 ・アラック ・スチカラー) 取付け用下地 ※14章4節による ・図示 (14.7.3) 伸縮調整継手 ・設ける ・設けない (14.7.3) 部材の種類 ・250形 ・350形 (14.8.2) (表14.8.1) 隅角部, 端部の役物 ※使用する ・使用しない 表面処理 ※A-1種又はB-1種			
	10	石 工 事		1 天然石 (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2) 品 質 産地・名称 仕上げの種類 施 工 箇 所 ※1等 ・2等 ※1等 ・2等 ・1等 ・2等 ・1等 ※2等 2 テラソ 種石の種類 ※大理石 (10.2.1) 種石の大きさ ※1.5~12mm 磨き仕上げの種類 ・粗磨き ・水磨き ・本磨き (表10.2.2) 3 外壁湿式工法 ドレンパイプの材質 ・SUS304 ・樹脂ネット製クロスメッシュ張り (10.2.3) 石裏面処理 ※行う ・行わない (10.3.2) 裏打ち処理 ・行う ※行わない (10.3.2) 下地ごしらえ ※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 (10.3.3) ・あと施工アンカー横筋流し工法 一般目地へのシーリング材の適用 ・適用する ※適用しない (10.3.3) 4 内壁空積工法 裏打ち処理 ・行う ※行わない (10.4.2) 下地ごしらえ ・あと施工アンカー工法 ※あと施工アンカー横筋流し工法 (10.4.3) 5 乾式工法 裏打ち処理 ・行う ※行わない (10.5.2) 6 床の石張り 石裏面処理 ※行う ・行わない (10.6.2) 屋内のワックス掛け ※行う ・行わない (10.1.5) 7 笠木, 甲板等の石張り 石裏面処理 ※行う ・行わない (10.7.3) 乾式工法での石裏の補強用モルタル ・適用する ※適用しない (10.7.3)	13		1 長尺金属板葺き 屋根 及び とい 工事 2 折板葺 3 スレート波板葺 (外壁を含む) 4 とい 5 ルーフドレン	材料 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板屋根用コイル (13.2.2)(表13.2.1) ※ガルバリウム鋼板 (塗膜のふくれ, 剥がれについての 10年保障) 工法 材料 形式による区分 ※重ね型又ははぜ締め型 (13.3.2)(表13.2.1) 折板に使用する材料 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板屋根用コイル ※ガルバリウム鋼板 (塗膜のふくれ, 剥がれについての 10年保障) 軒先面戸板 ※適用する ・適用しない 施工地域 ※一般地域 ・強風地域 (13.4.1) 材料 波の種類 屋根 ・大波 ・中波 ・小波 (13.4.2) 外壁 ・大波 ・中波 ・小波 軒先面戸板 ※適用する ・適用しない 工法 外壁の出隅 ※隅当て使用 (13.4.3) 材料 (13.5.2)(表13.5.1) 材 種 寸 法 施 工 箇 所 防露巻き工法 ※表 13.5.5 (13.5.3) 評価名簿による (13.5.3)	15	1 吸水調整材 2 既製品目地材 3 セルフレベリング材 塗り 4 仕上塗材仕上げ 左 官 工 事	監督職員の承諾するもの (15.2.2) 形状 (15.2.2) (15.6.2)(15.6.3) 種 類 厚さ (mm) 施 工 箇 所 ・石こう系 ・セメント系 ※10 (15.7.2)(表15.7.1) 種 類 呼 び 名 仕 上 げ の 形 状 工 法 ・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材E ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 吹付け ・内装薄塗材E ・砂壁状じゅらく 吹付け ・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状 吹付け ・ゆず肌状 ・さざ波状 ローラー ・防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状 ・さざ波状 ローラー ・凹凸状 吹付け ・外装薄塗材S ・砂壁状 吹付け ・内装薄塗材W ・京壁状じゅらく 吹付け ・厚付け仕上塗材 ・外装厚塗材C 吹付け ・ひき起し ・凸部処理 こて塗り ・内装厚塗材C 吹付け ・ひき起し ・凸部処理 こて塗り ・外装厚塗材E 吹付け ・吹放し ・凸部処理 吹付け ・ひき起し ・凸部処理 吹付け ・ひき起し ・凸部処理 こて塗り ・吹放し ・凸部処理 吹付け
	11	タ イ ル 工 事		1 陶磁器質タイル (11.2.1)(11.3.3) 陶磁器質タイル 形状・寸法・きじの質等 施 工 箇 所 張り工法 2 タイルの試験張り ※行わない ・行う (11.2.1) 3 タイルの見本焼き ※行わない ・行う (11.2.1)	1 長尺金属板葺き 屋根 及び とい 工事 2 折板葺 3 スレート波板葺 (外壁を含む) 4 とい 5 ルーフドレン		材料 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板屋根用コイル (13.2.2)(表13.2.1) ※ガルバリウム鋼板 (塗膜のふくれ, 剥がれについての 10年保障) 工法 材料 形式による区分 ※重ね型又ははぜ締め型 (13.3.2)(表13.2.1) 折板に使用する材料 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板屋根用コイル ※ガルバリウム鋼板 (塗膜のふくれ, 剥がれについての 10年保障) 軒先面戸板 ※適用する ・適用しない 施工地域 ※一般地域 ・強風地域 (13.4.1) 材料 波の種類 屋根 ・大波 ・中波 ・小波 (13.4.2) 外壁 ・大波 ・中波 ・小波 軒先面戸板 ※適用する ・適用しない 工法 外壁の出隅 ※隅当て使用 (13.4.3) 材料 (13.5.2)(表13.5.1) 材 種 寸 法 施 工 箇 所 防露巻き工法 ※表 13.5.5 (13.5.3) 評価名簿による (13.5.3)	15	1 吸水調整材 2 既製品目地材 3 セルフレベリング材 塗り 4 仕上塗材仕上げ 左 官 工 事	監督職員の承諾するもの (15.2.2) 形状 (15.2.2) (15.6.2)(15.6.3) 種 類 厚さ (mm) 施 工 箇 所 ・石こう系 ・セメント系 ※10 (15.7.2)(表15.7.1) 種 類 呼 び 名 仕 上 げ の 形 状 工 法 ・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材E ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 吹付け ・内装薄塗材E ・砂壁状じゅらく 吹付け ・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状 吹付け ・ゆず肌状 ・さざ波状 ローラー ・防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状 ・さざ波状 ローラー ・凹凸状 吹付け ・外装薄塗材S ・砂壁状 吹付け ・内装薄塗材W ・京壁状じゅらく 吹付け ・厚付け仕上塗材 ・外装厚塗材C 吹付け ・ひき起し ・凸部処理 こて塗り ・内装厚塗材C 吹付け ・ひき起し ・凸部処理 こて塗り ・外装厚塗材E 吹付け ・吹放し ・凸部処理 吹付け ・ひき起し ・凸部処理 吹付け ・ひき起し ・凸部処理 こて塗り ・吹放し ・凸部処理 吹付け	
建 築 ■ 設 計 群 ■ 無 垢		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第 915 号 一級建築士 第 271248 号 東 哲也	高知市 都市整備部 建築課		工事名 高知市野球場スコアボード基礎設置他工事	課 長 補 佐 係 長 設 計 作 成 図面番号 A / 3					
1 級 建 築 士 登 録 第 91035 号 建 築 課 長 山 崎 宏 明 12.07		図 面 名 仕様書(3) 縮 尺 1 /		作 図 年 月 日							

章	項 目		特 記 事 項		章	項 目		特 記 事 項		章	項 目		特 記 事 項																																																																																																																																																															
		5	ロックウール吹付け	(15.7.2)(表15.7.1) <table><tr><td>種 類</td><td>呼 び 名</td><td>仕 上 げ の 形 状</td><td>工 法</td></tr><tr><td>・複層仕上塗材</td><td>・複層塗材C E</td><td>・ゆず肌状</td><td>ローラー</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・凸部処理</td><td>凹凸</td><td>模様吹付け</td></tr><tr><td></td><td>・可とう形複層塗材C E</td><td>・ゆず肌状</td><td>ローラー</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・凸部処理</td><td>凹凸模様</td><td>吹付け</td></tr><tr><td></td><td>・複層塗材S i</td><td>・ゆず肌状</td><td>ローラー</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・複層塗材E</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・複層塗材R E</td><td>・凸部処理</td><td>凹凸模様</td><td>吹付け</td></tr><tr><td></td><td>・複層塗材R S</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・防水形複層塗材C E</td><td>・ゆず肌状</td><td>(・増塗材)</td><td>ローラー</td></tr><tr><td></td><td>・防水形複層塗材E</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・防水形複層塗材R S</td><td>・凸部処理</td><td>凹凸模様 (・増塗材)</td><td>吹付け</td></tr><tr><td></td><td>・軽量骨材仕上塗材</td><td>吹付用軽量塗材</td><td>・砂壁状</td><td>吹付け</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・こて塗用軽量塗材</td><td>・平たん状</td><td>こて塗り</td></tr></table> 複層仕上塗材の耐候性 ※耐候形3種 (15.7.2) 複層仕上塗材の上塗材の種類 ※水系7カ1つやあり (15.7.2)(表15.7.2) 防火材料の指定 ・なし ・あり(※仕上表 (15.7.2)) (15.7.2) (15.8.3) <table><tr><td>種 類</td><td>色 彩</td><td>厚 さ (mm)</td></tr><tr><td>・一般用</td><td>・着 色 ・原 色</td><td>・10 ・15 ・20</td></tr></table>	種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	・複層仕上塗材	・複層塗材C E	・ゆず肌状	ローラー			・凸部処理	凹凸	模様吹付け		・可とう形複層塗材C E	・ゆず肌状	ローラー				・凸部処理	凹凸模様	吹付け		・複層塗材S i	・ゆず肌状	ローラー			・複層塗材E					・複層塗材R E	・凸部処理	凹凸模様	吹付け		・複層塗材R S					・防水形複層塗材C E	・ゆず肌状	(・増塗材)	ローラー		・防水形複層塗材E					・防水形複層塗材R S	・凸部処理	凹凸模様 (・増塗材)	吹付け		・軽量骨材仕上塗材	吹付用軽量塗材	・砂壁状	吹付け			・こて塗用軽量塗材	・平たん状	こて塗り	種 類	色 彩	厚 さ (mm)	・一般用	・着 色 ・原 色	・10 ・15 ・20	8	建具金物	マスターキー ・製作する(・新規 ・既存合わせ) ・製作しない (16.8.5) 製造所 ※評価名簿による(評価名簿に記載のないものは建具表による)	9	ガラス	(16.9.2) <table><tr><td>ガラスの種類</td><td>製 作 所</td></tr><tr><td>熱線吸収板ガラス(グリーン)</td><td>評価名簿による</td></tr></table> 熱線反射ガラスの映像調整 ・行う ・行わない (16.9.4) 種別 (16.9.2) <table><tr><td>建具の種類</td><td>材 質</td><td>適 用 箇 所</td></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>・シーリング材 ・ガスケット (※グレイジングファン形 ・)</td><td></td></tr><tr><td>銅製</td><td>※シーリング材 ・ガスケット</td><td></td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>※シーリング材 ・ガスケット</td><td></td></tr><tr><td>木製</td><td>※シーリング材</td><td></td></tr></table> シーリング材 ※SR-1 (表9.5.1)	ガラスの種類	製 作 所	熱線吸収板ガラス(グリーン)	評価名簿による	建具の種類	材 質	適 用 箇 所	アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット (※グレイジングファン形 ・)		銅製	※シーリング材 ・ガスケット		ステンレス製	※シーリング材 ・ガスケット		木製	※シーリング材		10	ガラスとめ材	建具の種類 材 質 適 用 箇 所 アルミニウム製 ・シーリング材 ・ガスケット (※グレイジングファン形 ・) 銅製 ※シーリング材 ・ガスケット ステンレス製 ※シーリング材 ・ガスケット 木製 ※シーリング材	11	重量シャッター	シャッターの種類 (16.10.2) ・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能による種類 (16.10.2)(表16.10.1) ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 シャッターケース(防火、防煙以外のもの) ・設ける ・設けない 製作所 評価名簿による	12	軽量シャッター	開閉形式 ・上部電動式(手動併用) ※手動式 (16.11.2)(表16.11.1) スラットの材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (16.11.3) スラットの形状 ・インターlocking形 ・オーバーラップing形 (16.11.4) 製作所 評価名簿による	13	オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 ※スチタイプ ・アルミタイプ ・ファイバーグラスタイプ (16.12.2) 開閉方式による区分 ※ハリス式 ・チェーン式 ・電動式 (16.12.2) 収納形式による区分 ・スタンダード形 ・ローハット形 ・リフト形 ・ハッチ形 (16.12.2) ガイドレールの材料 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス (16.12.3) 製作所 評価名簿による	14	障害物感知装置	障害物感知装置の構造について 電動式のシャッター(ドア)に使用する障害物感知装置の構造は、以下による。 (1) シャッター(ドア)の電動降下時に障害物を感知し、シャッター(ドア)を自動的に停止又は停止後、直ちに反転上昇させる機能を有するものとする。 (2) 防火シャッター(ドア)及び防煙シャッター(ドア)においては、手動閉鎖装置又は運動閉鎖機構による自重降下中に、障害物感知装置が障害物を感知しても、シャッター(ドア)が自重降下の状態を維持するものとする。																																																						
				種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法																																																																																																																																																																					
・複層仕上塗材	・複層塗材C E	・ゆず肌状	ローラー																																																																																																																																																																									
		・凸部処理	凹凸	模様吹付け																																																																																																																																																																								
	・可とう形複層塗材C E	・ゆず肌状	ローラー																																																																																																																																																																									
		・凸部処理	凹凸模様	吹付け																																																																																																																																																																								
	・複層塗材S i	・ゆず肌状	ローラー																																																																																																																																																																									
	・複層塗材E																																																																																																																																																																											
	・複層塗材R E	・凸部処理	凹凸模様	吹付け																																																																																																																																																																								
	・複層塗材R S																																																																																																																																																																											
	・防水形複層塗材C E	・ゆず肌状	(・増塗材)	ローラー																																																																																																																																																																								
	・防水形複層塗材E																																																																																																																																																																											
	・防水形複層塗材R S	・凸部処理	凹凸模様 (・増塗材)	吹付け																																																																																																																																																																								
	・軽量骨材仕上塗材	吹付用軽量塗材	・砂壁状	吹付け																																																																																																																																																																								
		・こて塗用軽量塗材	・平たん状	こて塗り																																																																																																																																																																								
種 類	色 彩	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																										
・一般用	・着 色 ・原 色	・10 ・15 ・20																																																																																																																																																																										
ガラスの種類	製 作 所																																																																																																																																																																											
熱線吸収板ガラス(グリーン)	評価名簿による																																																																																																																																																																											
建具の種類	材 質	適 用 箇 所																																																																																																																																																																										
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット (※グレイジングファン形 ・)																																																																																																																																																																											
銅製	※シーリング材 ・ガスケット																																																																																																																																																																											
ステンレス製	※シーリング材 ・ガスケット																																																																																																																																																																											
木製	※シーリング材																																																																																																																																																																											
16	1	一般事項	建具見本の製作 ・行う 建具番号() ※行わない (16.1.4) ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作するもの ・納まり等がわかる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・行う 建具番号() ※行わない (16.1.4)	2	アルミニウム製建具	外部に面する建具の性能等 (16.2.2)(表14.2.1)(表16.2.1) <table><tr><td>種 別</td><td>耐風圧性</td><td>気 密 性</td><td>水 密 性</td><td>枠の見込み</td><td>備 考</td></tr><tr><td>※A種</td><td>※S-4</td><td rowspan="2">※A-3</td><td rowspan="2">※W-4</td><td rowspan="2">※70</td><td rowspan="2">※100</td></tr><tr><td>・B種</td><td>※S-5</td></tr><tr><td>・C種</td><td>※S-6</td><td>※A-4</td><td>※W-5</td><td>※100</td><td></td></tr></table> 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 (16.2.2) 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 耐震ドアセットの面内変形追随性 防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製 (16.2.3) 外部に面する建具の表面処理 (16.2.4)(表14.2.1) ※B-1種 ・B-2種(・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 内部に面する建具の表面処理 (16.2.4)(表14.2.1) ※C-1種 ・C-2種(・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 製作所 評価名簿による	種 別	耐風圧性	気 密 性	水 密 性	枠の見込み	備 考	※A種	※S-4	※A-3	※W-4	※70	※100	・B種	※S-5	・C種	※S-6	※A-4	※W-5	※100		3	鋼製建具	寸法許容差(W,H>2.0m,W,H>3.0m2,枠の見込み>120mmの場合) (16.3.4)(表16.3.3) ※表16.3.3による 製作所 評価名簿による	4	鋼製軽量建具	召合わせ、縦小口包み板の材質 ・ステンレス鋼板 ※鋼板 ・アルミニウム (16.4.3) 製作所 評価名簿による	5	ステンレス製建具	寸法許容差(W,H>2.0m,W,H>3.0m2,枠の見込み>120mmの場合) (16.5.4)(表16.3.3) ※表16.3.3による 表面仕上げ ※H L仕上げ ・鏡面仕上げ ・No.2 B程度 (14.2.1)(16.5.4) 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (16.5.5) 製作所 評価名簿による	6	自動ドア開閉装置	開閉方法 ※スライディングドア ・スイングドア ・回転ドア (16.6.3)(表16.6.3) センサの種類 ・マットスイッチ ・電子(電磁)マットスイッチ ・熱線スイッチ ・光線(反射)スイッチ ・音波スイッチ 製作所 評価名簿による	7	木製建具	建具材の加工、組立て時の含水率 (16.7.2)(表16.7.1) ※B種 合板類のホルムアルデヒド放散量 ※J A Sで定めるF c0等級 メチルエチルケトン抽出率(MDF)及びホルムアルデヒド放出量 ・J I Sで定めるE0等級 ※J I Sで定めるE0又はE1等級	17	1	材料	防火材料 ※屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。 (17.1.3) ・次の箇所を除き、防火材料とする。 その他 ※屋内の塗装仕上げ材は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。 木部 不透明塗料塗り ※A種 ・B種 (表17.2.1) 透明塗料塗り ・A種 ※B種 亜鉛めっき面 鋼製の建具 ※A種 ・B種 ・C種 (17.2.4)(表17.2.3) その他 ・A種 ※B種 ○C種	18	内装工事	1	ビニル床シート張り	(18.2.2) <table><tr><td>種 類</td><td>記号</td><td>色柄</td><td>厚さ(mm)</td><td>工法</td><td>施 工 箇 所</td></tr><tr><td>※発泡層のないもの</td><td>※N C</td><td>※無地</td><td>・2.0 ※2.5</td><td>・突付け ※熱溶接</td><td></td></tr></table>	種 類	記号	色柄	厚さ(mm)	工法	施 工 箇 所	※発泡層のないもの	※N C	※無地	・2.0 ※2.5	・突付け ※熱溶接		2	ビニル床タイル張り	(18.2.2) <table><tr><td>種 類</td><td>記号</td><td>厚さ(mm)</td><td>施 工 箇 所</td></tr><tr><td>・ホモジニアスビニル床タイル</td><td>H T</td><td>※2.0</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>※コンポジションビニル床タイル</td><td>※半硬質 ・硬質</td><td>C T C T S</td></tr></table>	種 類	記号	厚さ(mm)	施 工 箇 所	・ホモジニアスビニル床タイル	H T	※2.0		※コンポジションビニル床タイル	※半硬質 ・硬質	C T C T S	3	帯電防止床シート及び床タイル	(18.2.2) <table><tr><td>種 類</td><td>厚さ(mm)</td><td>性 能</td></tr><tr><td>・帯電防止床シート</td><td>※2.0</td><td rowspan="2">・体積抵抗値 1.0*10~9Ω以下</td></tr><tr><td>・帯電防止床タイル</td><td>・</td></tr></table>	種 類	厚さ(mm)	性 能	・帯電防止床シート	※2.0	・体積抵抗値 1.0*10~9Ω以下	・帯電防止床タイル	・	4	ゴム床タイル張り	(18.2.2) <table><tr><td>色 柄</td><td>厚さ(mm)</td><td>施 工 箇 所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	色 柄	厚さ(mm)	施 工 箇 所				5	誘導用床材及び注意喚起用床材	(18.2.2) <table><tr><td>種 類</td><td>寸 法(mm)</td><td>厚さ(mm)</td><td></td></tr><tr><td>・塩化ビニル系</td><td rowspan="2">・300×300</td><td rowspan="2">※30</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・レジンコンクリート系</td></tr></table>	種 類	寸 法(mm)	厚さ(mm)		・塩化ビニル系	・300×300	※30		・レジンコンクリート系	6	ビニル幅木	(18.2.2) <table><tr><td>材 種</td><td>厚さ(mm)</td><td>高 さ(mm)</td><td>施 工 箇 所</td></tr><tr><td>※軟質 ・硬質</td><td>※2.0</td><td>・60 ・75 ※100</td><td></td></tr></table>	材 種	厚さ(mm)	高 さ(mm)	施 工 箇 所	※軟質 ・硬質	※2.0	・60 ・75 ※100		7	合成樹脂張り床	弾性ウレタン塗り床の仕上げの種類 (18.3.3)(表18.3.3) ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ エポキシ樹脂塗り床の仕上げの種類 (18.3.3)(表18.3.4～表18.3.7) ・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ ・防滑仕上げ	8	石こうボードその他のボード及び合板張り	材料 (18.4.2)(表18.4.1) <table><tr><td>規格番号</td><td>規格名称</td><td>材 種 (種類又は記号)</td><td>厚 さ (摘 要)</td></tr><tr><td>JIS A5404</td><td>木毛</td><td>・難燃木毛セメント板</td><td>・25 ・30</td></tr><tr><td></td><td>セメント板</td><td>・断熱木毛セメント板</td><td>・</td></tr><tr><td>JIS A5430</td><td>繊維強化セメント板</td><td>○ナイ酸カルシウム板 (0.8FK)</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>(ソラスベスト) (1.0FK)</td><td>○12.0</td></tr><tr><td>JIS A6301</td><td>吸音材料</td><td>・ロックウール吸音化粧板 (DR)</td><td>・9.0 (普通模様) ・ (立体模様)</td></tr><tr><td>JIS A6901</td><td>せっこうボード製品</td><td>・せっこうボード (GB-R)</td><td>・9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・シーリングせっこうボード (GB-S)</td><td>・9.0</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・強化せっこうボード (GB-F)</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・せっこう化粧ボード (GB-L)</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・化粧せっこうボード (GB-D)</td><td>・9.5 (不燃) (トリアックス) ・9.5 (準不燃) (木目模様)</td></tr></table> せっこうボードの目地処理の種類 ・目透かし工法 ・突付け工法 (18.4.3)(表18.4.4) ・突付けV目地工法 ・継目処理工法	規格番号	規格名称	材 種 (種類又は記号)	厚 さ (摘 要)	JIS A5404	木毛	・難燃木毛セメント板	・25 ・30		セメント板	・断熱木毛セメント板	・	JIS A5430	繊維強化セメント板	○ナイ酸カルシウム板 (0.8FK)	・			(ソラスベスト) (1.0FK)	○12.0	JIS A6301	吸音材料	・ロックウール吸音化粧板 (DR)	・9.0 (普通模様) ・ (立体模様)	JIS A6901	せっこうボード製品	・せっこうボード (GB-R)	・9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)			・シーリングせっこうボード (GB-S)	・9.0			・強化せっこうボード (GB-F)	・			・せっこう化粧ボード (GB-L)	・			・化粧せっこうボード (GB-D)	・9.5 (不燃) (トリアックス) ・9.5 (準不燃) (木目模様)	9	フローリング張り	・埋め込み工法 材料 樹種 ※なら (18.5.4)(表18.5.1) 厚さ ※15mm 大きさ ※303*303 ・釘どめ工法 材料 類別 ※複合フローリング ※A種 ・B種 ・C種 (18.5.5) ・フローリングボード (表18.5.2) 樹種 ※なら ・接着工法 材料 類別 ※複合フローリング ※A種 ・B種 ・C種 (18.5.6) ・フローリングボード 樹種 ※なら ・塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・A種 ※B種 (18.5.7)(表17.15.1) ・油性ステインのうえワックス塗り (18.5.7)(表17.6.1) ・生地のままワックス塗り
種 別	耐風圧性	気 密 性	水 密 性	枠の見込み	備 考																																																																																																																																																																							
※A種	※S-4	※A-3	※W-4	※70	※100																																																																																																																																																																							
・B種	※S-5																																																																																																																																																																											
・C種	※S-6	※A-4	※W-5	※100																																																																																																																																																																								
種 類	記号	色柄	厚さ(mm)	工法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																							
※発泡層のないもの	※N C	※無地	・2.0 ※2.5	・突付け ※熱溶接																																																																																																																																																																								
種 類	記号	厚さ(mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																																									
・ホモジニアスビニル床タイル	H T	※2.0																																																																																																																																																																										
※コンポジションビニル床タイル	※半硬質 ・硬質	C T C T S																																																																																																																																																																										
種 類	厚さ(mm)	性 能																																																																																																																																																																										
・帯電防止床シート	※2.0	・体積抵抗値 1.0*10~9Ω以下																																																																																																																																																																										
・帯電防止床タイル	・																																																																																																																																																																											
色 柄	厚さ(mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																																										
種 類	寸 法(mm)	厚さ(mm)																																																																																																																																																																										
・塩化ビニル系	・300×300	※30																																																																																																																																																																										
・レジンコンクリート系																																																																																																																																																																												
材 種	厚さ(mm)	高 さ(mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																																									
※軟質 ・硬質	※2.0	・60 ・75 ※100																																																																																																																																																																										
規格番号	規格名称	材 種 (種類又は記号)	厚 さ (摘 要)																																																																																																																																																																									
JIS A5404	木毛	・難燃木毛セメント板	・25 ・30																																																																																																																																																																									
	セメント板	・断熱木毛セメント板	・																																																																																																																																																																									
JIS A5430	繊維強化セメント板	○ナイ酸カルシウム板 (0.8FK)	・																																																																																																																																																																									
		(ソラスベスト) (1.0FK)	○12.0																																																																																																																																																																									
JIS A6301	吸音材料	・ロックウール吸音化粧板 (DR)	・9.0 (普通模様) ・ (立体模様)																																																																																																																																																																									
JIS A6901	せっこうボード製品	・せっこうボード (GB-R)	・9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)																																																																																																																																																																									
		・シーリングせっこうボード (GB-S)	・9.0																																																																																																																																																																									
		・強化せっこうボード (GB-F)	・																																																																																																																																																																									
		・せっこう化粧ボード (GB-L)	・																																																																																																																																																																									
		・化粧せっこうボード (GB-D)	・9.5 (不燃) (トリアックス) ・9.5 (準不燃) (木目模様)																																																																																																																																																																									
建 築 ■ 設 計 群 ■ 無 垢				一級建築士事務所 高知県知事 登録 第915号 一級建築士 第271248号 東 哲也				高知市 都市整備部 建築課				工事名 高知市野球場スコアボード基礎設置他工事		課 長	補 佐	係 長	設 計	作 成	図面番号 A / 4																																																																																																																																																									
								1級建築士登録第91035号 建築課長 山崎宏明 12.07				図 面 名 仕様書(4)		縮 尺	1 /		作 図 年 月 日																																																																																																																																																											

10

壁紙張り

壁紙

(18.6.2)

品質(程度)	防火性能の級別	施工箇所
	・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級	
	・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級	
	・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級	

素地ごしらえ

モルタル及びプラスター面

・ A種 ※B種

(18.6.3)(表17.2.4)

せっこう板及びその他の板面

・ A種 ※B種

(18.6.3)(表17.2.7)

ホルムアルデヒドの放散量等

※「生活環境の安全に配慮したインテリア材料に関するガイドライン（I S M）」あるいはそれと同等の基準、性能に適合するもの。

11

畳敷き

種別

・ A種 ・ B種 ・ C種 ※D種

(18.7.2)(表18.7.1)

12

カーベツト敷き

(18.8.3)(18.8.4)(表18.8.1)

種類	種別	バイル形状	品質(程度)
織じゅうたん	・ A種	・ カットバイル	
	・ B種	・ ループバイル	
	・ C種	・ カット、ループ併用	

(18.8.3)

種類	バイル形状	品質(程度)
タフテツドカーベツト	・ カットバイル	
	・ マルチレベルループ	
	・ レベルループバイル	
	・ カット、ループ併用	

(18.8.3)

種類	厚さ(mm)	品質(程度)
ニードルパンチカーベツト		

(18.8.3)(表18.8.2)(表18.8.3)

種類	種別	バイル形状	寸法(mm)	総厚(mm)	電気抵抗(Ω)	品質(程度)
タイル	※A種	・ カットバイル	※500*500	※6.5	※適用しない	
カーベツト	・ B種	※ループバイル		・ 7.0	・ 10~9 Ω以下	

13

断熱・防露

断熱材打込み工法の材料

(18.9.2)

種類	厚さ(mm)	品質・規格
※押出法ポリスチレンフォーム保温板2種	・ 25	JIS A9511
※押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b(接地部分)	・ 25	
・ 硬質ウレタンフォーム保温板1種2号	・ 25	

断熱材現場発泡工法の材料

※ JIS A9526 による

(18.9.3)

難燃性の級別

※ 3 級

・ 2 級

厚さ

・ 25

製造所 評価名簿による

14

吸音材

材 種	種類	厚さ(mm)
・ ロックウール吸音材(ガラスクロス包み)	ロックウール吸音ボード1号60K	・ 25
・ グラスウール吸音材(ガラスクロス包み)	吸音用グラスウールボード2号32K	・ 25

15

可動間仕切

JIS A5612による他は次による。

構造形式	表面材質	仕 上 げ	不燃認定	品質・規格
・ パネル式	※鋼板	※メツ樹脂塗料又はアクリル樹脂塗料焼付け塗装	・ あり	※JIS A5612に又は評価名簿による
・ スタッヅ式			・ なし	
・ スタッヅパネル式				

16

移動間仕切

パネル圧接装置の操作方法	遮音性能	表面仕上げ
・ プッシュ式	※一般タイプ (36dB未満)	・ 焼付け塗装
・ ハンドル回転式	・ 遮音タイプ (36dB以上)	・ 壁紙張り

製造所 評価名簿による

17

接着剤

壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

18

合板類及びフローリング材料

合板類のホルムアルデヒド放散量

(18.4.2)(18.5.2)

※JASで定めるFco等級

メツ樹脂塗料又はアクリル樹脂塗料焼付け塗装

(18.4.2)

・ JISで定めるE0等級

※JISで定めるE0又はE1等級

19

舗装工事

①

路床

路床安定処理

・ 行う(添加材料の種類)

(19.2.2)(19.2.3)(表19.2.2)

○ 行わない

盛土材料

・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種

(19.2.3)(表3.2.1)

遮断層用材料

※川砂、海砂又は良質な山砂

(19.2.3)

路床土の支持力比(CBR)試験

※行わない ・ 行う

(19.2.5)

路床締固め度の試験

※行わない ・ 行う

(19.2.5)

②

路盤

③

アスファルト舗装

材料

・ クラッパンのC-40、クラッパンスガのCS-40

(19.3.3)(表19.3.3)

※再生クラッパンのRC-40

※フロック

※インターロッキングの撤去後、下地調整

(19.4.2)(表19.4.1)

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し ・ 有り	
・ カラー舗装	※無し ・ 有り	※顔料を用いた加熱アスファルト混合物

アスファルト

※再生アスファルト、ストレートアスファルト

(19.4.3)(表19.4.3)

加熱アスファルト混合物の種類

(19.4.4)(表19.4.6)

表 層	・ 密粒度アスファルト混合物 (13)
	・ 細粒度アスファルト混合物 (13)
基 層	・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)

シールコート

・ 行う ※行わない

(19.4.5)

アスファルト混合物の抽出試験

・ 行う ※行わない

(19.4.6)

4

コンクリート舗装

早強セメント

・ 使用する ※使用しない

(19.5.3)

コンクリート板厚さ試験

・ 行う ※行わない

(19.5.6)

5

透水性舗装

アスファルト混合物の抽出試験

・ 行う ※行わない

(19.6.6)

タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類

・ PKR -T1 ・ PKR -T2

(表19.7.3)

6

排水性舗装

アスファルトの品質

改質アスファルトI型

(表19.7.2)

⑦

ブロック系舗装

コンクリート平板舗装の目地材

※砂 ・ モルタル

(19.8.2)

舗石の基層

・ アスファルト舗装

※コンクリート舗装

(19.8.2)

仕上がり面の平坦さ

※ 19.8.2(b)

(19.8.2)

材料

コンクリート平板

※ N300

(19.8.3)

インターロッキングブロック

厚さ(mm)

※60 ・ 80

(19.8.3)

品質(程度)

○ 現状使用品再利用

⑧

街きよ、縁石及び側溝

材料

コンクリート縁石の形状及び寸法

○ 150/170×200×600

(19.9.2)(表19.9.1)

現状使用品仮復旧部分に再利用

コンクリート側溝の形状及び寸法

地業

※切込み砂利、切込み碎石又は再生クラッパン

(19.9.2)(4.5.2)

⑨

砂利敷き

20

排水工事

1

排水溝及びふた

(20.2.2)

種類	形 式	荷重(安全荷重(kgf))	鍵
鋳鉄製マンホールふた	水封形		
	・ 簡易密閉形(バッキン式)	・ T-2用(500)	・ 有り
	・ 密閉形(テーパー・バッキン式)	・ T-6用(1500)	・ 無し
	・ 中蓋付密閉形(テーパー・バッキン式)	・ T-20用(5000)	

製造所 評価名簿による

2

埋戻し用材料

・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種

(20.2.3)(表3.2.1)

3

グレーチング

種類	型 式	用 途	適用荷重	メインバーピッチ	メインバー上面の形状		
鋼製	※受枠付	溝ふた用	・ 歩行用	・ 普通目	・ 細 目 (mm)	・ 平 型	・ 凹凸型
グレーチング		ますふた用	・ T-2 用				
		かさあげ用	・ T-6 用				
		U字溝用	・ T-14 用				
			・ T-20 用				
ステンレス製	※受枠付	溝ふた用	・ 歩行用				
グレーチング		ますふた用	・ T-2 用				
		かさあげ用	・ T-6 用				
		U字溝用	・ T-14 用				
			・ T-20 用				

騒音防止ゴム(T-14用、T-20用の場合)

・ 適用する ・ 適用しない

製造所 評価名簿による

21

植栽工事

1

植栽地の試験

酸度試験

※行わない ・ 行う(方法)

(21.1.3)

塩分量試験

※行わない ・ 行う(方法)

(21.1.3)

2

植栽基盤の整備

※行う ・ 行わない

(21.2.2)(21.2.3)(表21.2.1)(表21.2.2)

樹木の高さ(m)	有効土層(cm)			工法	範囲
・ 1 2 以上	※ 100	・ 120	・ 150	※ A種	・ 葉張り部分
・ 7 ~ 1 2	※ 80	・ 100		・ B種	※ 植栽部分
・ 3 ~ 7	※ 60	・ 80		・ C種	・ 図示
・ 3 以下	※ 50	・ 60		・ D種	
※芝、地被類	※ 20			※ B種	・ 植栽部分

3

土壌改良材

・ 行う ・ 行わない

(21.2.3)

※バーク堆肥

施工箇所

施工箇所

4

植え込み用土

※現場発生の良質土

・ 客土

(21.3.2)

5

支柱材

※杉焼き丸太

・ 竹

(21.3.2)

形状

・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ 八字掛け

(21.3.3)

・ 布掛け

・ ワイヤ支柱

・ 地下埋設形支柱

6

幹巻き用材料

※幹巻き用テープ

・ わら及びこも

(21.3.2)

7

芝張り

種類

※こうらい芝 ・ 野芝

(21.4.2)

8

新植、移植樹木、芝等の枯補償の期間

※引渡しの日から 1 年

(21.3.4)(21.3.6)(21.4.7)

22

カーテンウォール工事

1

カーテンウォールの性能

(22.1.3)

※耐風圧性	・ S-4 ・ S-5 ・ S-6	※耐温度差性(°C)	
・ 耐震性()		・ 遮音性	・ T-1 ・ T-2 ・ T-3
			・ T-4
※水密性	・ W-4 ・ W-5	・ 断熱性(m3h °C/kcal)	・ H-1 ・ H-2 ・ H-3
※気密性	・ A-3 ・ A-4		・ H-4 ・ H-5
・ 耐火性(時間)		・ 結露水処理	・ ふきとり式 ・ 排出式

2

メタルカーテンウォール

種類

・ アルミニウム製 ・ 鋼製 ・ ステンレス製

(22.2.2)

見掛けり部分の仕上げ

(22.2.3)

材料

シーリング材

※MS -2

(22.2.2)(表9.5.1)

3

P Cカーテンウォール

コンクリート

種類

※表 6.11.1 の 1 種

(22.3.2)

設計基準強度

※ 300kg/cm2

仕上げ

・ 天然石 ・ タイル

4

ガラス取付用材料

※シーリング材

・ 構造用ガスケット

(22.2.2)(22.3.2)

5

断熱材

・ ポリウレタン

・ ポリスチレン

・ グラスウール

23

ユニット及びその他の工事

1

階段滑止め

材種

※ステンレス製(SUS304)タイヤ入り

(23.2.2)

幅(mm)

・ 約35

工法

※接着工法 ・ 埋込み工法

2

フリーアクセスフロアー

(23.2.4)

施工箇所	許容水平力(G)	高さ(mm)	床仕上げ材	ボーダー部及びスロープ部	製造所 評価名簿による
	・ 0.6	・ 1.0	※タイルカーベツト	※一般部分の仕様に準ずる	
			・ 帯電防止ビニル床タイル	・ 図示	

建築 ■

設計群

■ 無垢

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第915号

一級建築士 第271248号 東 哲也

高知市 都市整備部 建築課

1級建築士登録第91035号 建築課長 山崎宏明 12.07

工事名

高知市野球場スコアボード基礎設置他工事

図面名

仕様書(5)

縮 尺

1 /

課 長

補 佐

係 長

設 計

作 成

図面番号

A / 5

作 図

年 月 日

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																													
	3 トイレブース	※図示 ・ 製造所 評価名簿による (23.2.5)		21 収納家具等の材料	合板類のホルムアルデヒド放放量 (18.4.2)(18.5.2) ※ＪＡＳで定めるＦｃ0等級 メディア・パーティクルボード（ＭＤＦ）及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放油量 (18.4.2) ・ ＪＩＳで定めるＥ０等級 ※ＪＩＳで定めるＥ０又はＥ１等級		③ その他	平成13年4月20日 平成13年7月10日 既存施設の解体工事は3月1日から行うこと。 解体工事に伴うグラウンド内仮囲いは2月28日午後に行うこと。																													
	4 ブラインド	(23.2.6) <table><tr><td>形 式</td><td>※横形ブラインド</td><td>・ 縦形ブラインド</td></tr><tr><td>スラットの材質</td><td>※アルミニウム合金</td><td>・ アルミニウム合金 ・ クロス</td></tr><tr><td>開閉方式</td><td>※ギヤー式 ・ コード式</td><td></td></tr><tr><td>スラットの成形幅 (mm)</td><td>※25</td><td>・ 100 ・ 80</td></tr></table>		形 式	※横形ブラインド		・ 縦形ブラインド		スラットの材質	※アルミニウム合金	・ アルミニウム合金 ・ クロス	開閉方式	※ギヤー式 ・ コード式		スラットの成形幅 (mm)	※25	・ 100 ・ 80		① スコアボード基礎の完成期限																		
	形 式	※横形ブラインド		・ 縦形ブラインド																																	
	スラットの材質	※アルミニウム合金		・ アルミニウム合金 ・ クロス																																	
	開閉方式	※ギヤー式 ・ コード式																																			
	スラットの成形幅 (mm)	※25		・ 100 ・ 80																																	
	5 カーテン	(23.2.7)(表23.2.1) <table><tr><td>品質（程度）</td><td>ひだの種類</td><td>形 式</td><td>引分け装置</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 片引き ・ 引分け</td><td>・ 有 ・ 無</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 片引き ・ 引分け</td><td>・ 有 ・ 無</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 片引き ・ 引分け</td><td>・ 有 ・ 無</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 片引き ・ 引分け</td><td>・ 有 ・ 無</td></tr></table>		品質（程度）	ひだの種類		形 式		引分け装置			・ 片引き ・ 引分け	・ 有 ・ 無			・ 片引き ・ 引分け	・ 有 ・ 無			・ 片引き ・ 引分け	・ 有 ・ 無			・ 片引き ・ 引分け	・ 有 ・ 無	24 ① 別途設備工事との取合い	① ハックスクリーンの完成期限										
	品質（程度）	ひだの種類		形 式	引分け装置																																
				・ 片引き ・ 引分け	・ 有 ・ 無																																
				・ 片引き ・ 引分け	・ 有 ・ 無																																
				・ 片引き ・ 引分け	・ 有 ・ 無																																
				・ 片引き ・ 引分け	・ 有 ・ 無																																
	6 カーテンレール	材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 (23.2.7)		施工範囲 ※貫通孔、開口部の補強 ※下表 ・ 図示 ※壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 ・ 図示 ※駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ① スコアボード本体工事と当該工事の工事範囲が重複しているため 施設管理者及び関係業者と十分打ち合わせを行い施工すること	① 解体工事																																
	7 天井見切縁	材質 ・ アルミニウム製 ※塩ビ																																			
	8 黒板及びホワイトボード	・ 黒板 種類 ※焼付け (23.2.8) ・ ホワイトボード 種類 ※ほうろう		補強種別	階 別 (又 は 棟 別)																																
	9 表示	(23.2.10) <table><tr><td>区 分</td><td>材質・厚さ(mm)</td><td>印刷等の種別</td><td>色 彩</td><td>書 体</td></tr><tr><td>・ 室名札</td><td>※アクリル板 (※5)</td><td>※シルクスクリーン印刷</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ ピクトグラフ</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ とびら番号</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 建物案内板</td><td>※アクリル板 (※8)</td><td>※シルクスクリーン印刷</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 各階案内板</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		区 分	材質・厚さ(mm)		印刷等の種別		色 彩	書 体	・ 室名札	※アクリル板 (※5)	※シルクスクリーン印刷			・ ピクトグラフ					・ とびら番号					・ 建物案内板	※アクリル板 (※8)	※シルクスクリーン印刷			・ 各階案内板					貫通口・梁・開口部の補強	1階
	区 分	材質・厚さ(mm)		印刷等の種別	色 彩		書 体																														
	・ 室名札	※アクリル板 (※5)		※シルクスクリーン印刷																																	
	・ ピクトグラフ																																				
	・ とびら番号																																				
・ 建物案内板	※アクリル板 (※8)	※シルクスクリーン印刷																																			
・ 各階案内板																																					
10 煙突ライニング	煙突用成形ライニング材 製造所 評価名簿による (23.2.11) キャストابل耐火材 工法 ※こて押え 最高使用温度 ※400℃	壁																																			
11 コーナービート	材質 ※ステンレス ・ アルミニウム合金 (23.2.12)	スラブ																																			
12 点検口	形 式 材 種 寸 法 形 式 鍵 天井 ※アルミニウム製 ・ 450*450 外枠 内枠 ※なし ・ 600*600 一般形 ・ 額縁タイプ ・ 額縁タイプ ・ あり ・ 一般形 ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ ・ 密閉形 床 ※アルミニウム製 ・ 450*450 一般形 ・ 密閉形 ・ なし ・ ステンレス製 ・ 600*600 結露防止形 ※あり ・ 屋内外用 ・ 屋内用																																				
13 ステンレス流し台	※優良住宅部品	天井切込み及び補強																																			
14 コンロ台	※優良住宅部品	壁切込み及び補強																																			
15 吊戸棚	※優良住宅部品	施工図																																			
16 水切り棚	※優良住宅部品	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。																																			
17 くつふきマット	材質 ・ ステンレス鋼(SUS304) (受わく ステンレス鋼（SUS304）) ・ 硬質アルミニウム合金 (受わく 硬質アルミニウム合金)	図示した室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 測定法 ・ 検知紙法 ※検知管法 ・ 定電位電解法 ・ 吸光光度法																																			
18 かぎ箱	・ 本用 個																																				
①9 フェンス	※ メッシュフェンス 仕様：亜鉛、Al合金処理の上塗装品 公表材料価格 5,500円／m程度（フェンス高さ1200、柱間隔2000の場合） ※ 目隠しフェンス 仕様：亜鉛、Al合金処理の上塗装品 公表材料価格 41,800円／m程度（フェンス高さ3000、柱間隔2050の場合）																																				
②0 車止めさく	※ 既存車止めを再利用																																				

建 築 ■
設 計 群
■ 無 垢

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第 915 号
一級建築士 第 271248 号 東 哲也

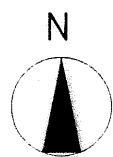
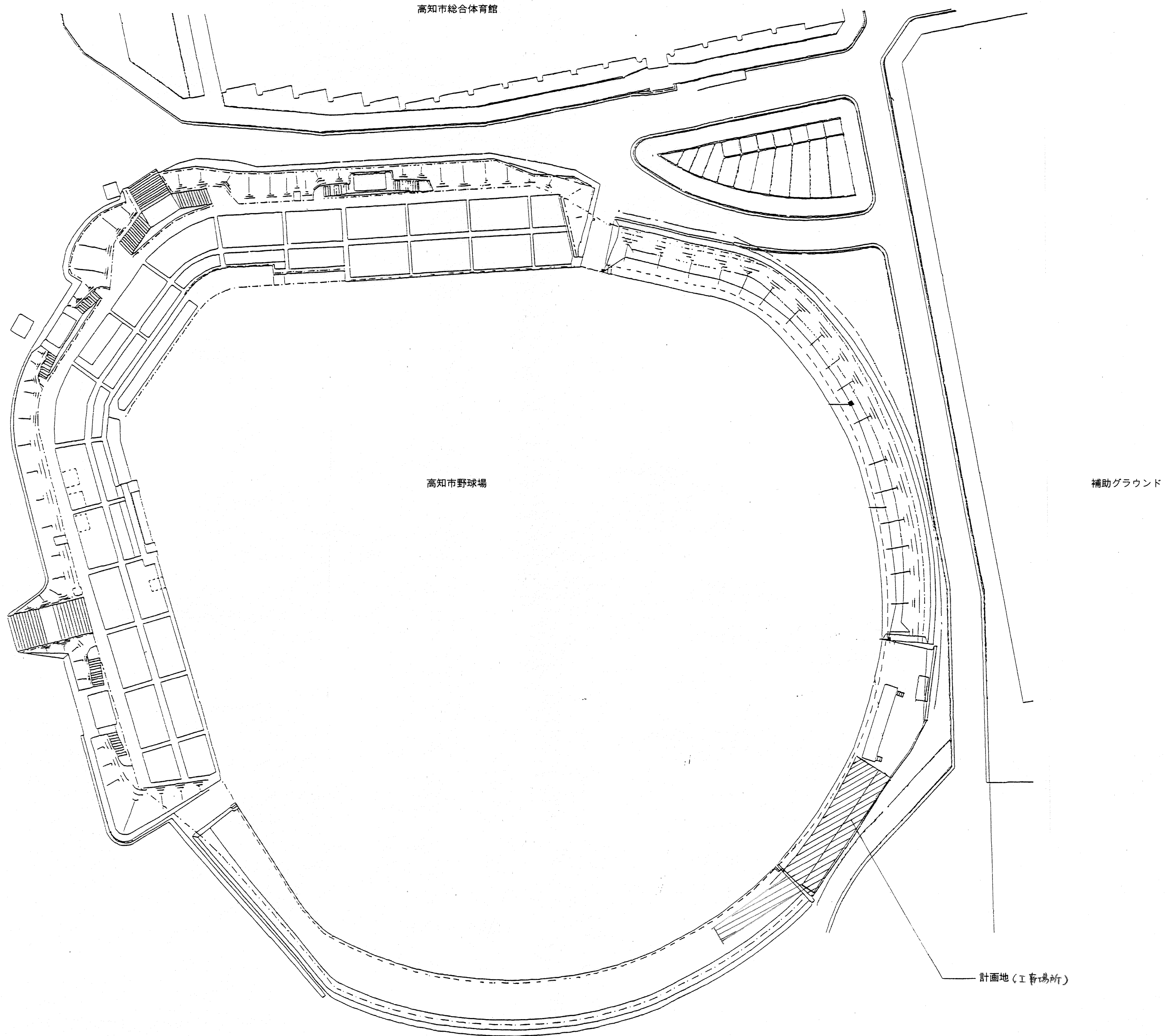
高知市 都市整備部 建築課

1級建築士登録第 91035 号 建築課長 山崎宏明 12.07

工事名
高知市野球場スコアボード基礎設置他工事

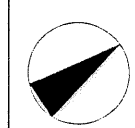
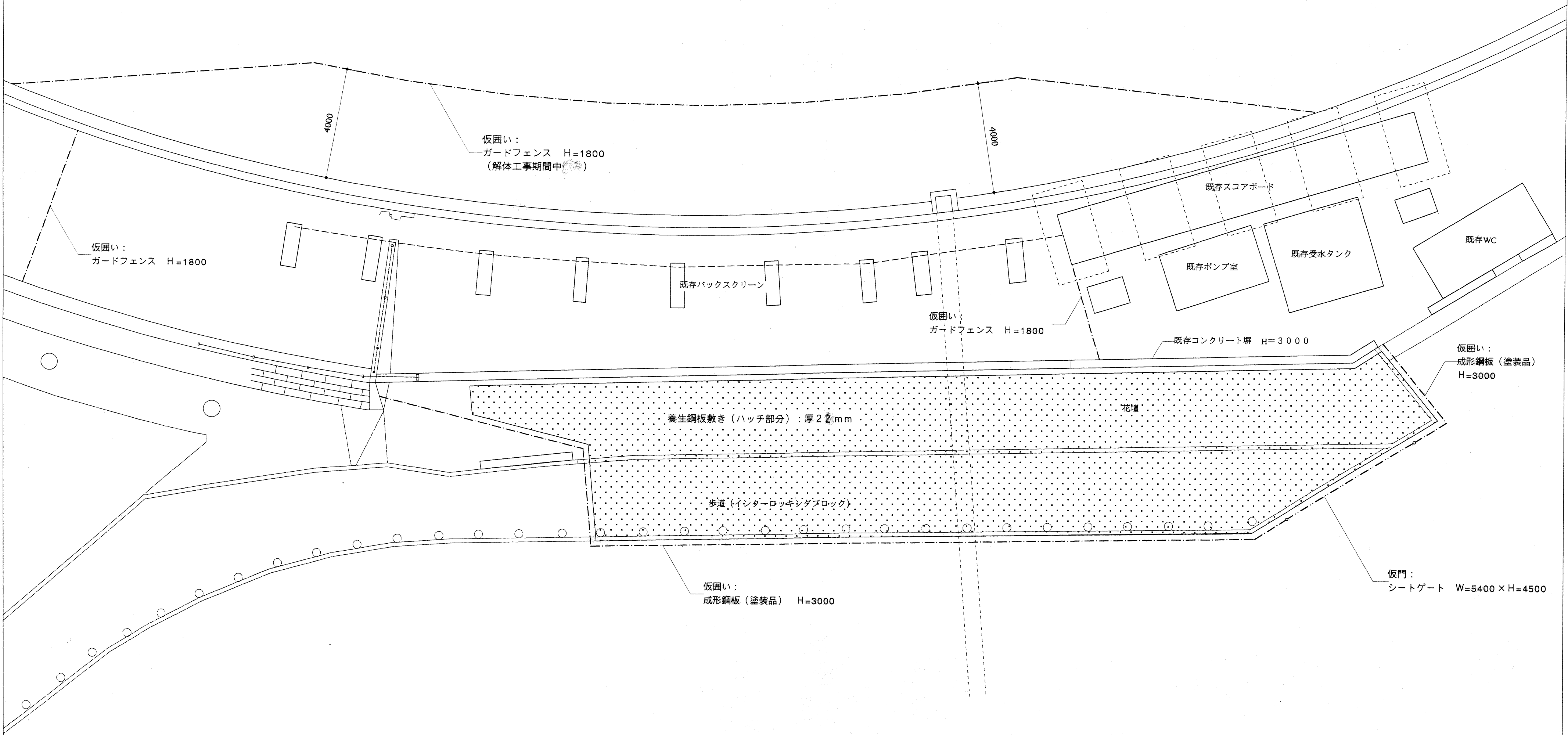
課 長 補 佐 係 長 設 計 作 成 図面番号
A / 6

図 面 名 仕様書(6) 縮 尺 1 / 作 図 年 月 日

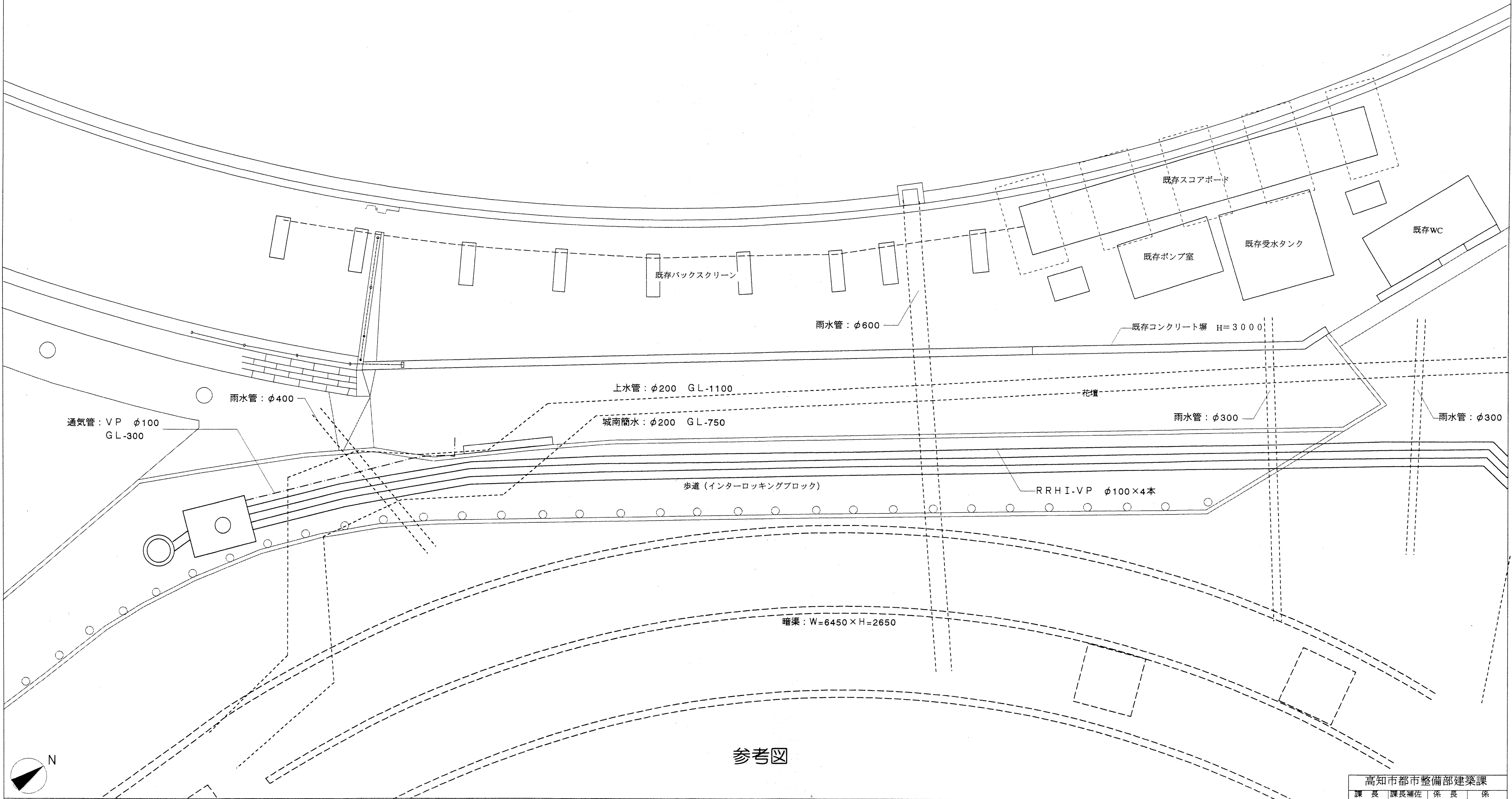


高知市都市整備部建築課				CHECKED BY		DRAWN BY		SHEET NO.	
課長	課長補佐	係長	係	DATE		DATE		A 7	
   									

高知市野球場スコアボード基礎設置他		工事設計図	建築 ■	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第 915 号		CHECKED BY		DRAWN BY		SHEET NO.	
付近見取り図		SCALE 1 : 500	設計群 ■ 無垢	一級建築士 第 271248 号 東 哲也		DATE		DATE		A 7	

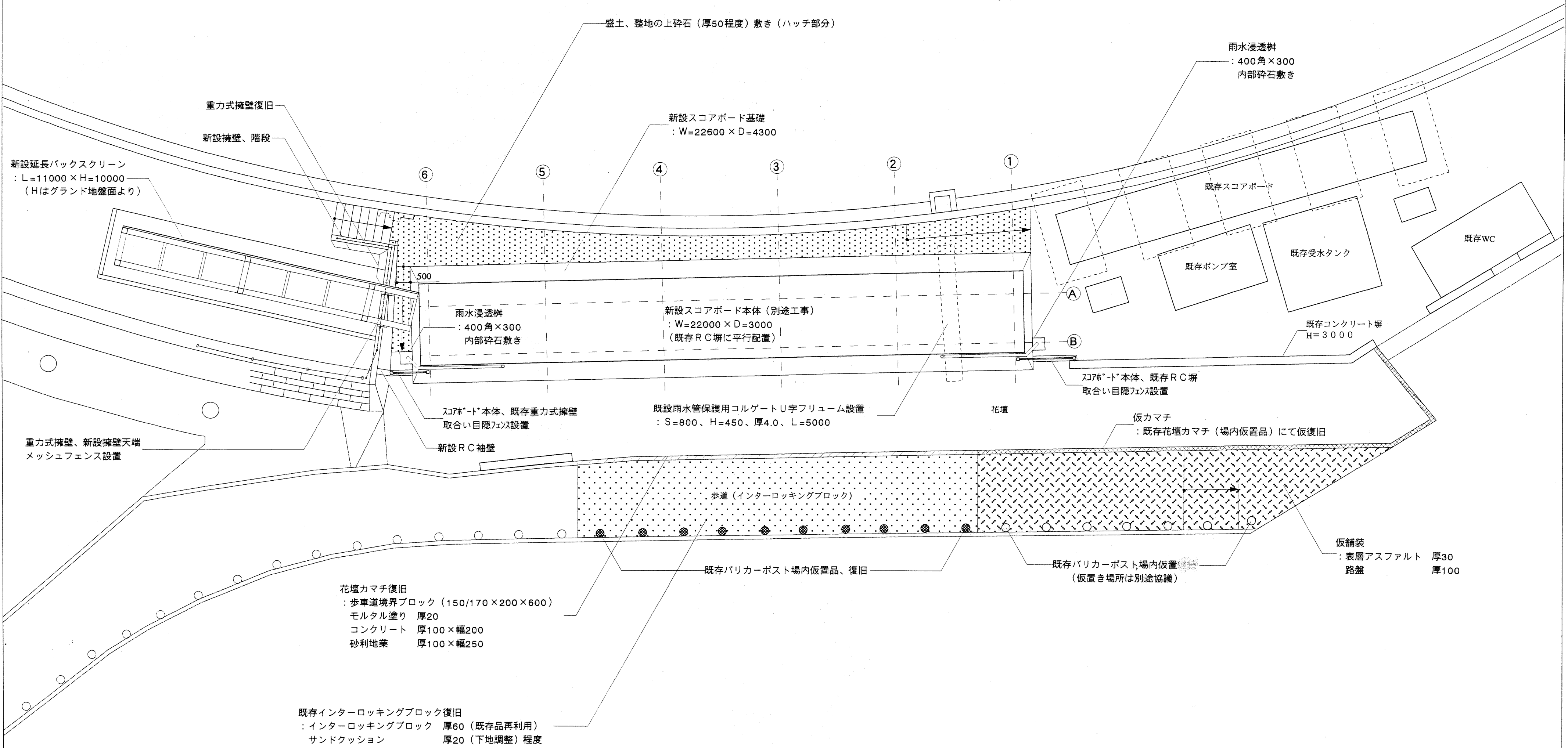


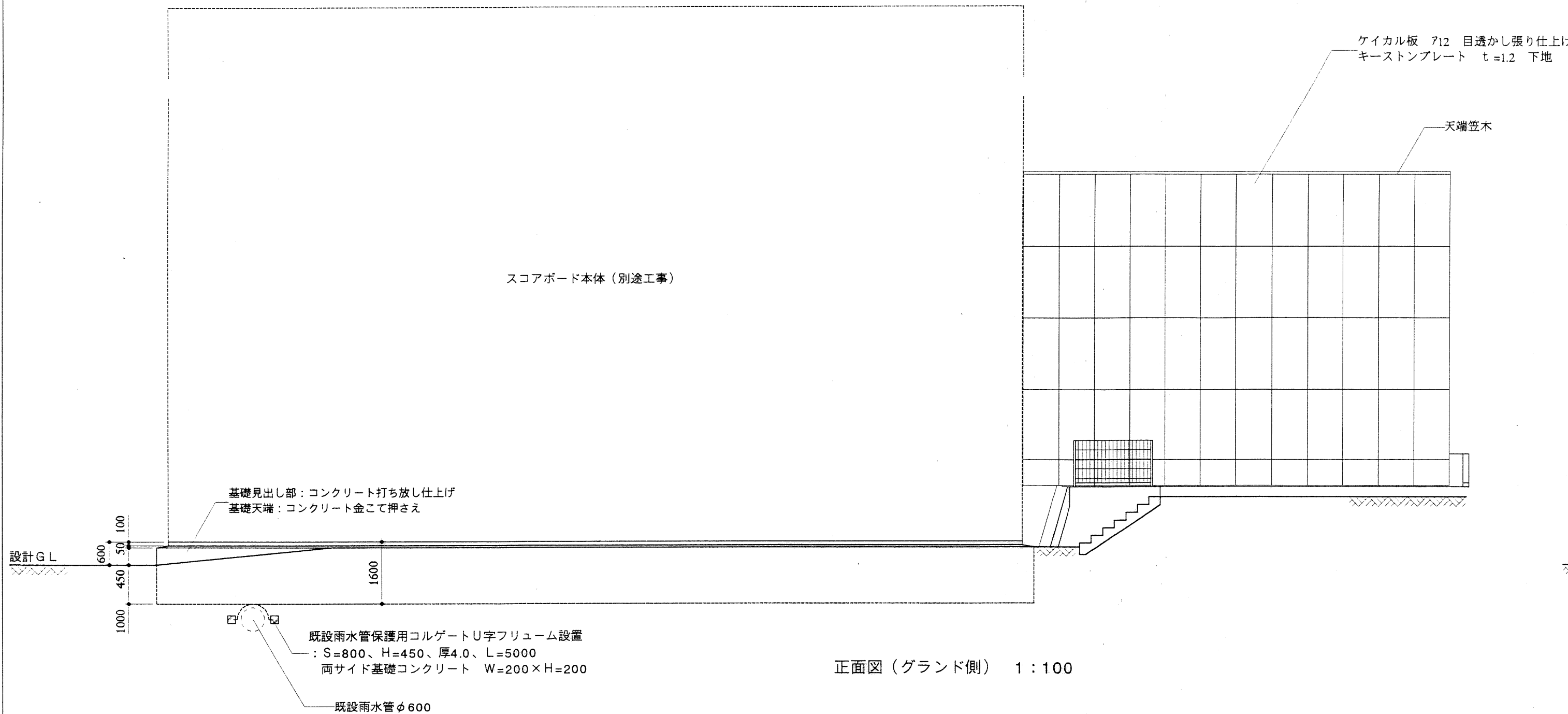
高知市都市整備部建築課				高知市野球場スコアボード基礎設置他				建築				CHECKED BY				DRAWN BY				SHEET NO.			
課長	課長補佐	係長	係	高知市野球場スコアボード基礎設置他	工事設計図	設計群	無垢	一級建築士事務所	高知県知事	登録	第915号	DATE	DATE	DATE	DATE	DATE	DATE	DATE	DATE	A	9		
総合仮設図				SCALE 1:100				一級建築士				第271248号				東 哲也							



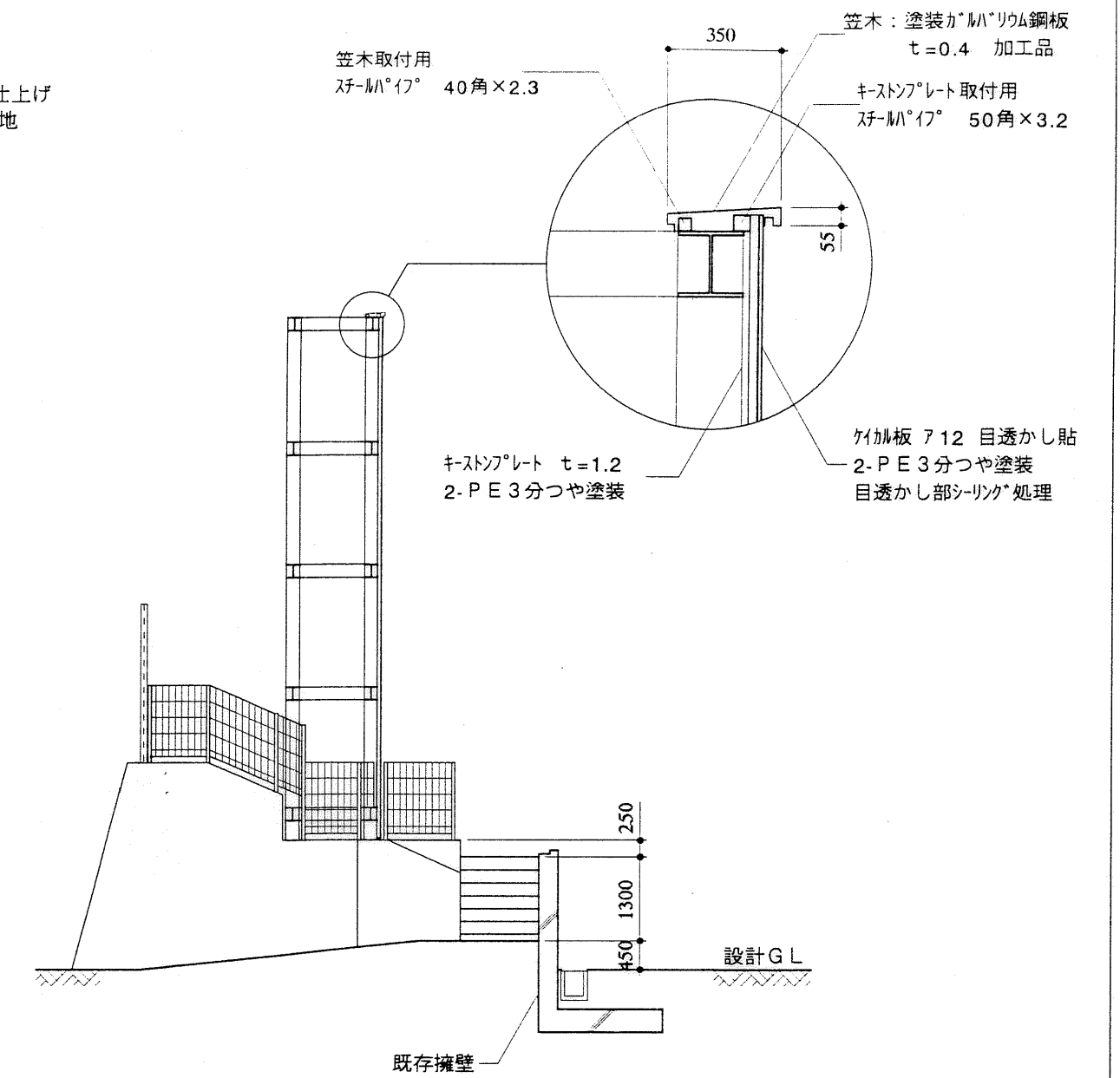
参考図

高知市都市整備部建築課									
課 長		課長補佐		係 長		係			
高知市野球場スコアボード基礎設置他				工事設計図		建 築 課		CHECKED BY	
既存設備配管参考図				SCALE 1 : 100		設 計 群		DRAWN BY	
						一級建築士事務所 高知県知事 登録 第915号		SHEET NO.	
						一級建築士 第271248号 東 哲也		A 10	
						無 垢			

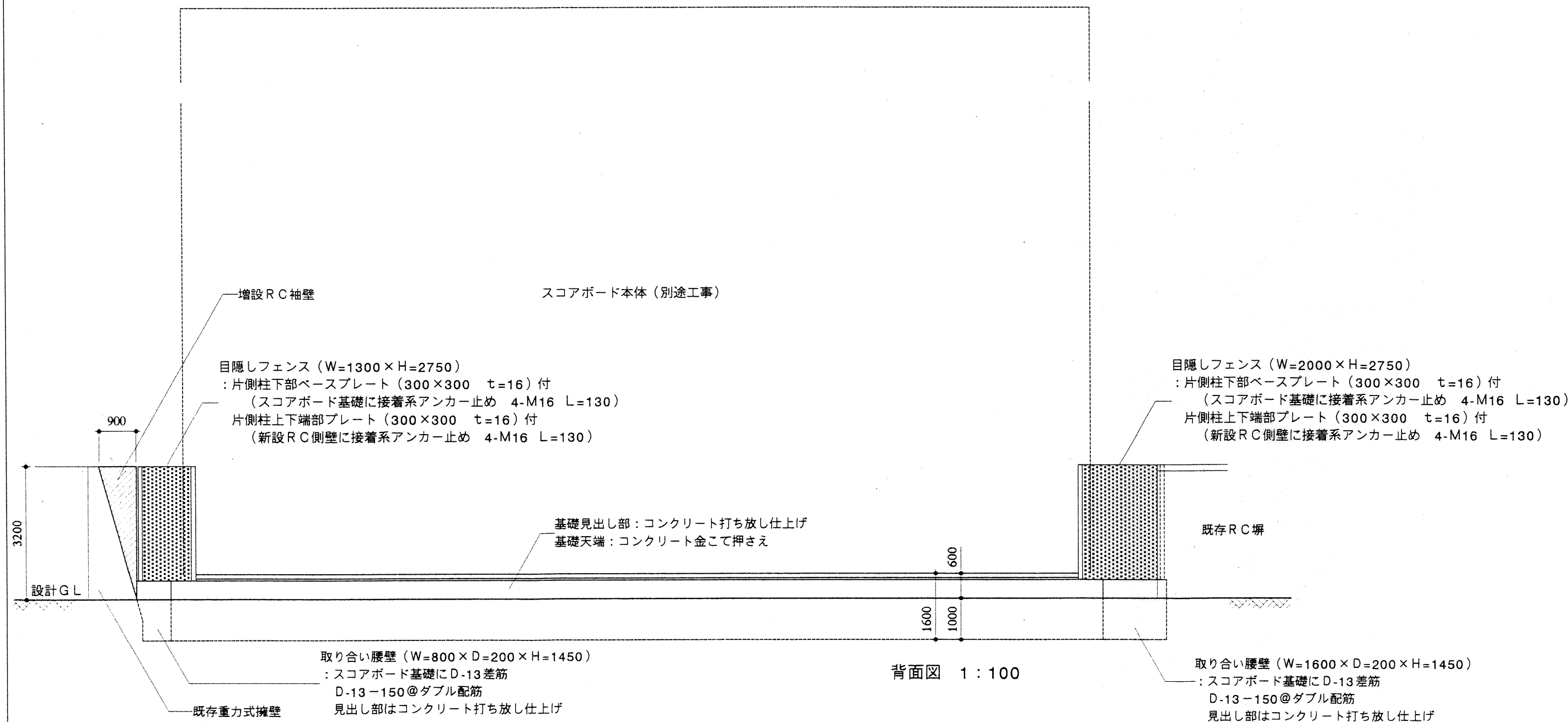




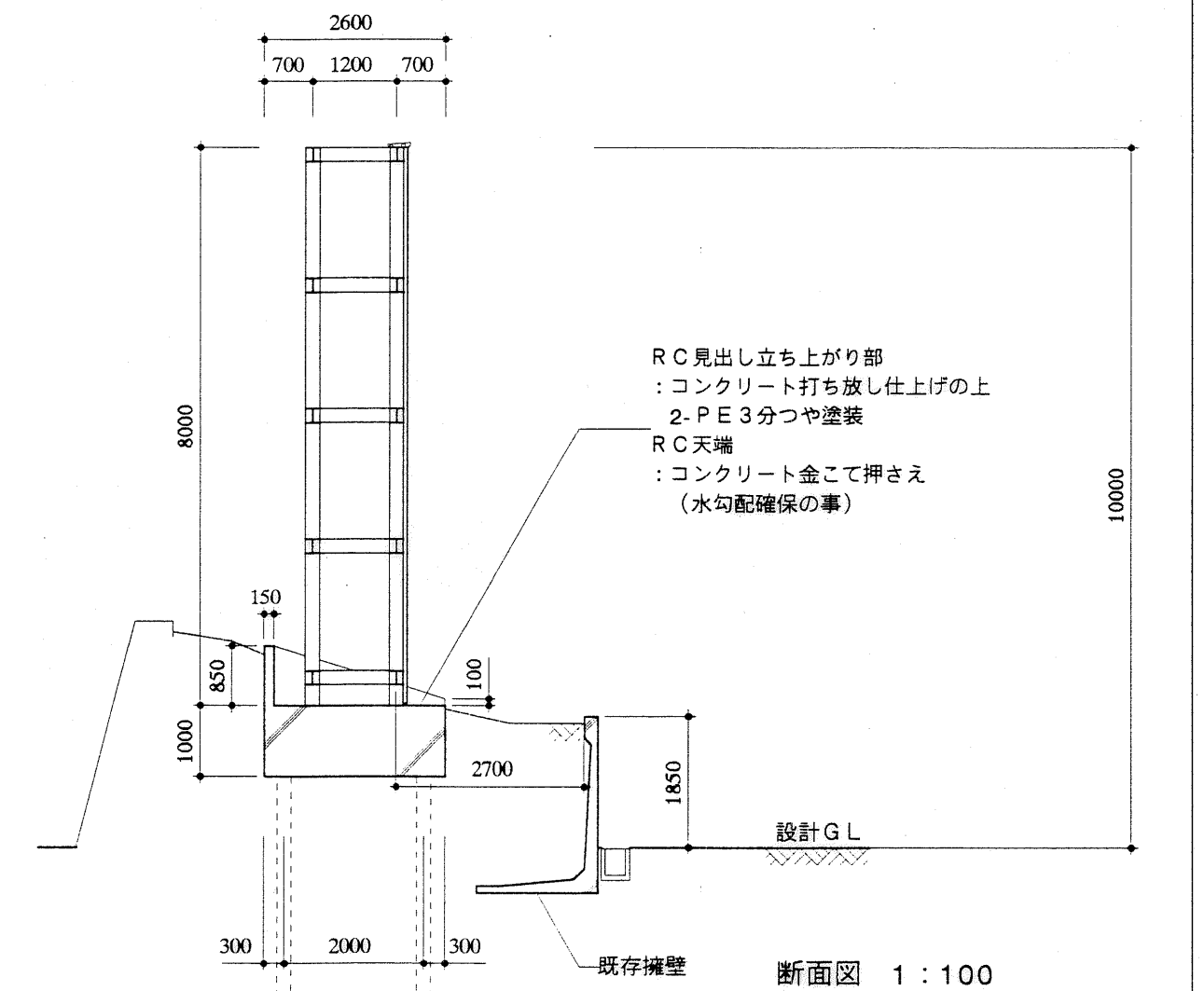
正面図 (グランド側) 1 : 100



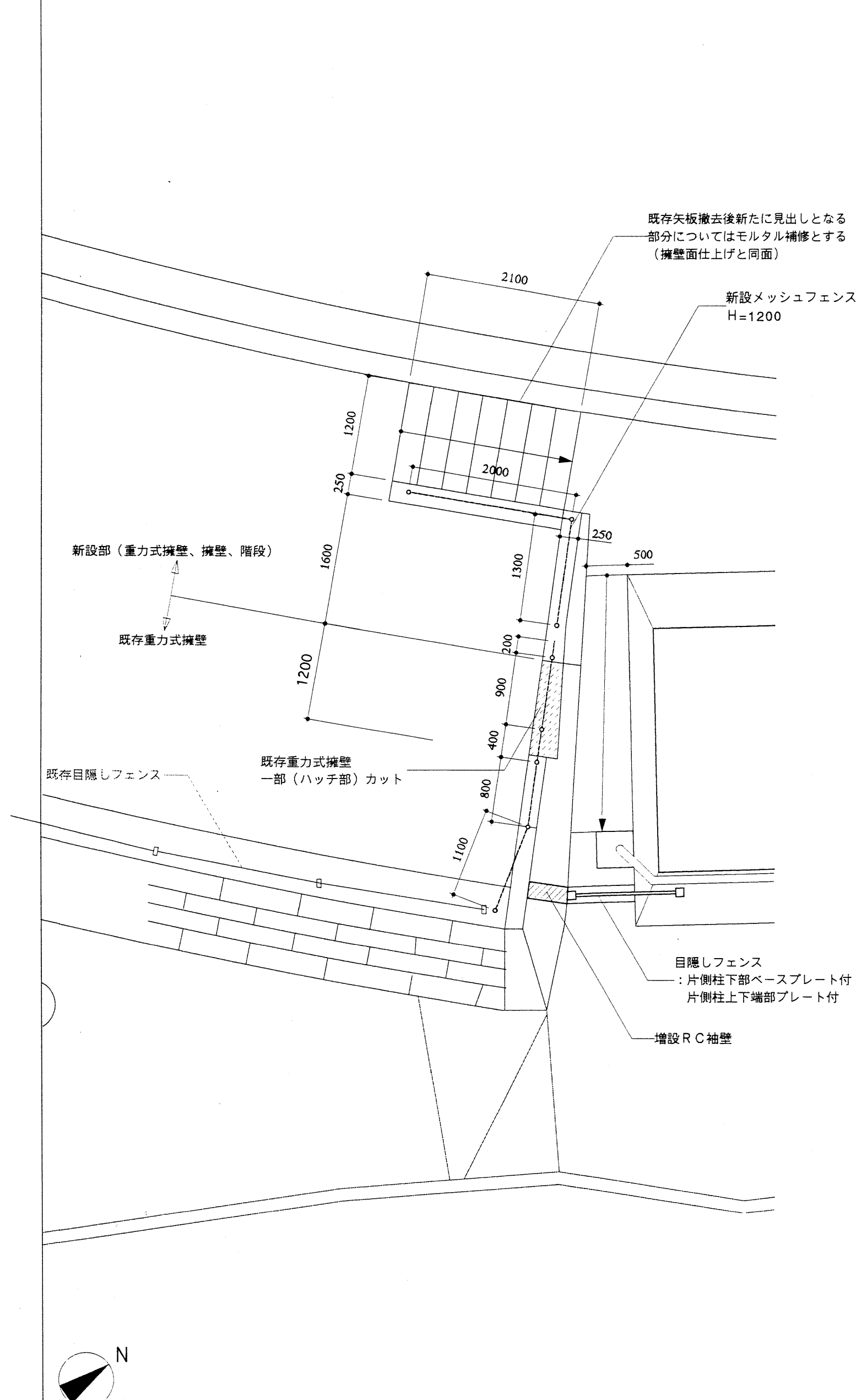
側面図 1 : 100



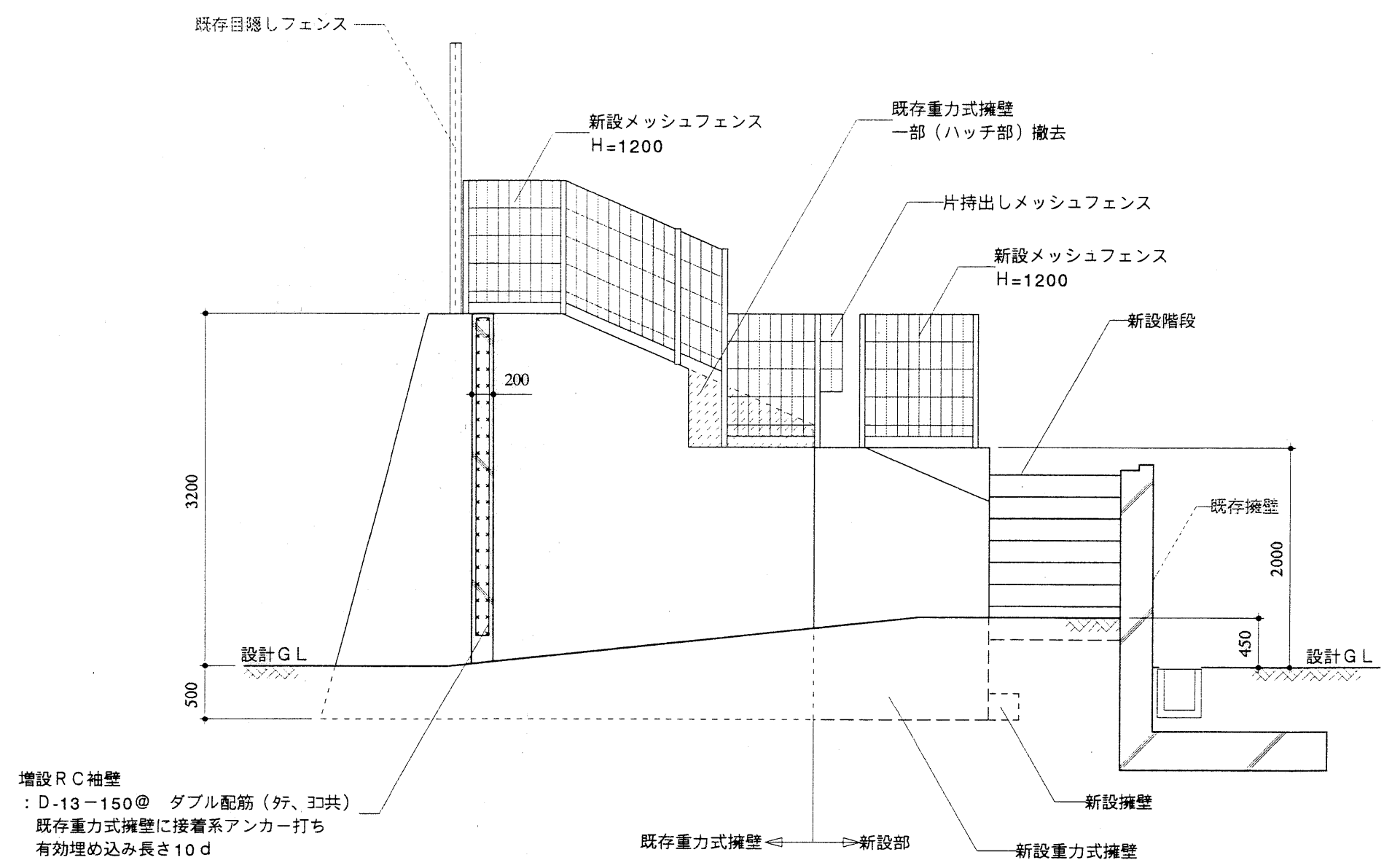
背面図 1 : 100



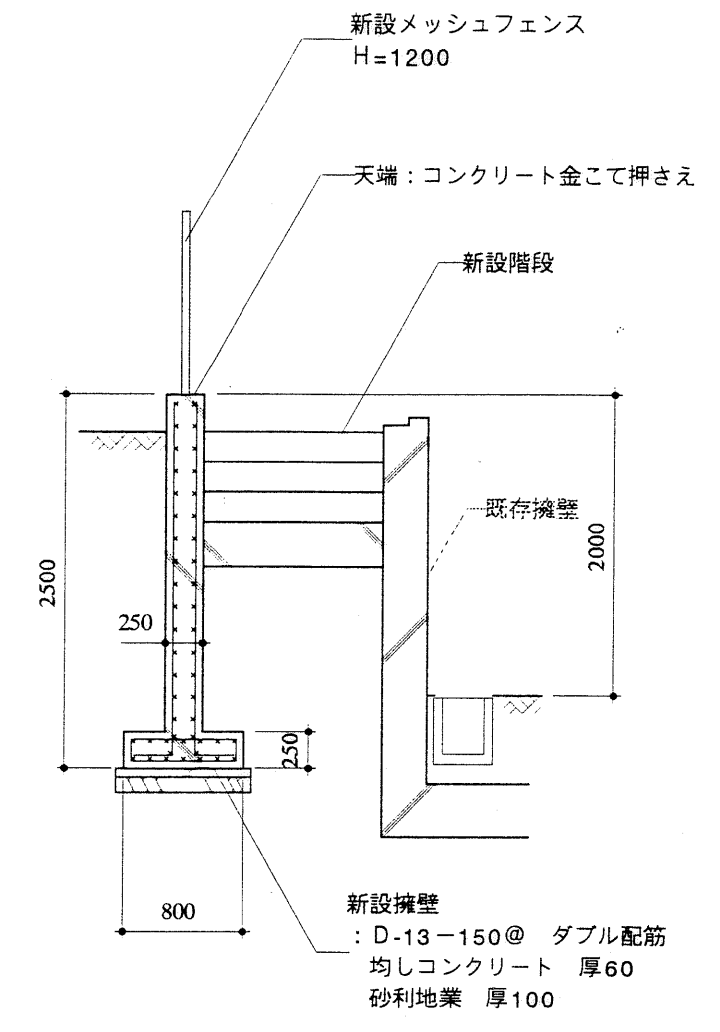
断面図 1 : 100



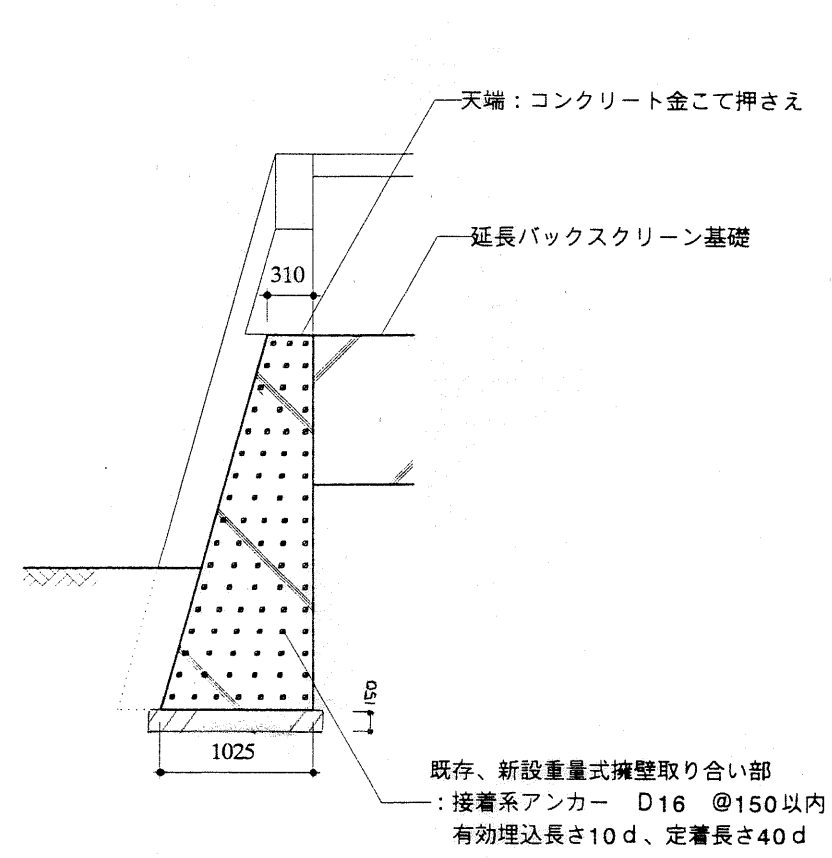
重力式擁壁周辺平面図



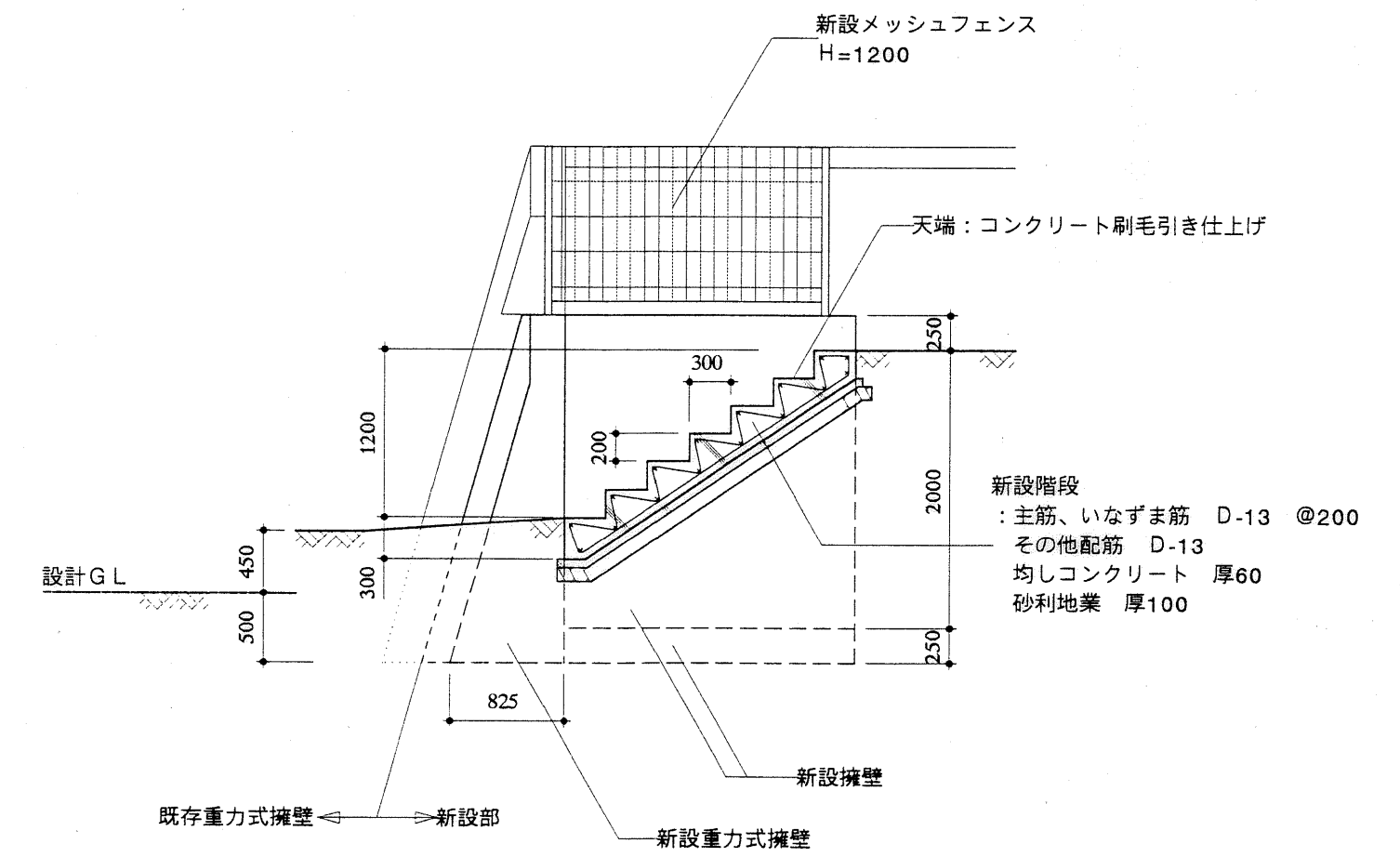
重力式擁壁周辺側面図



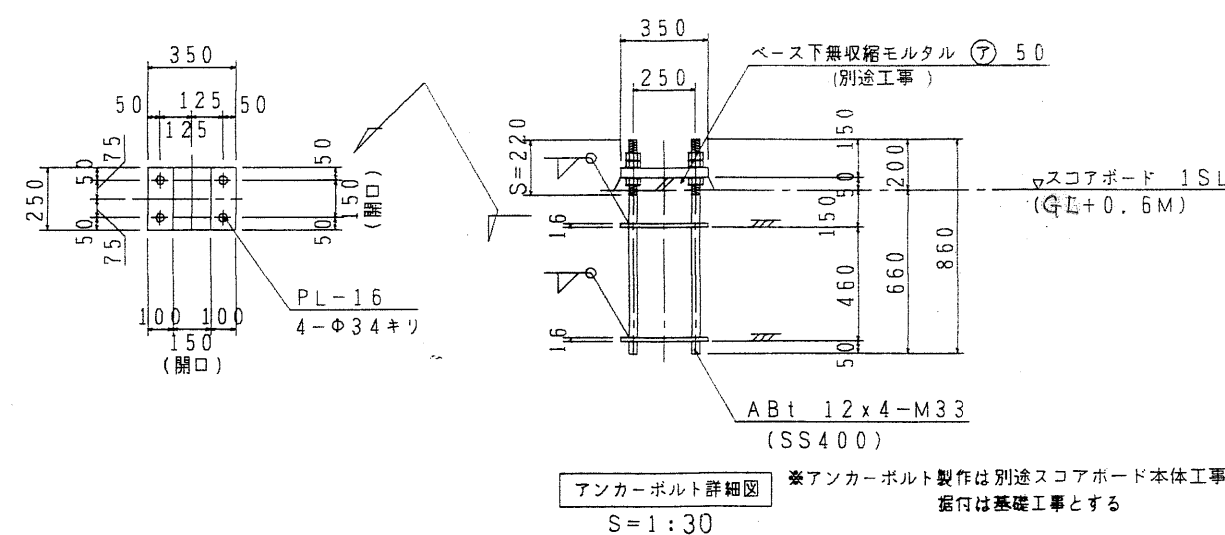
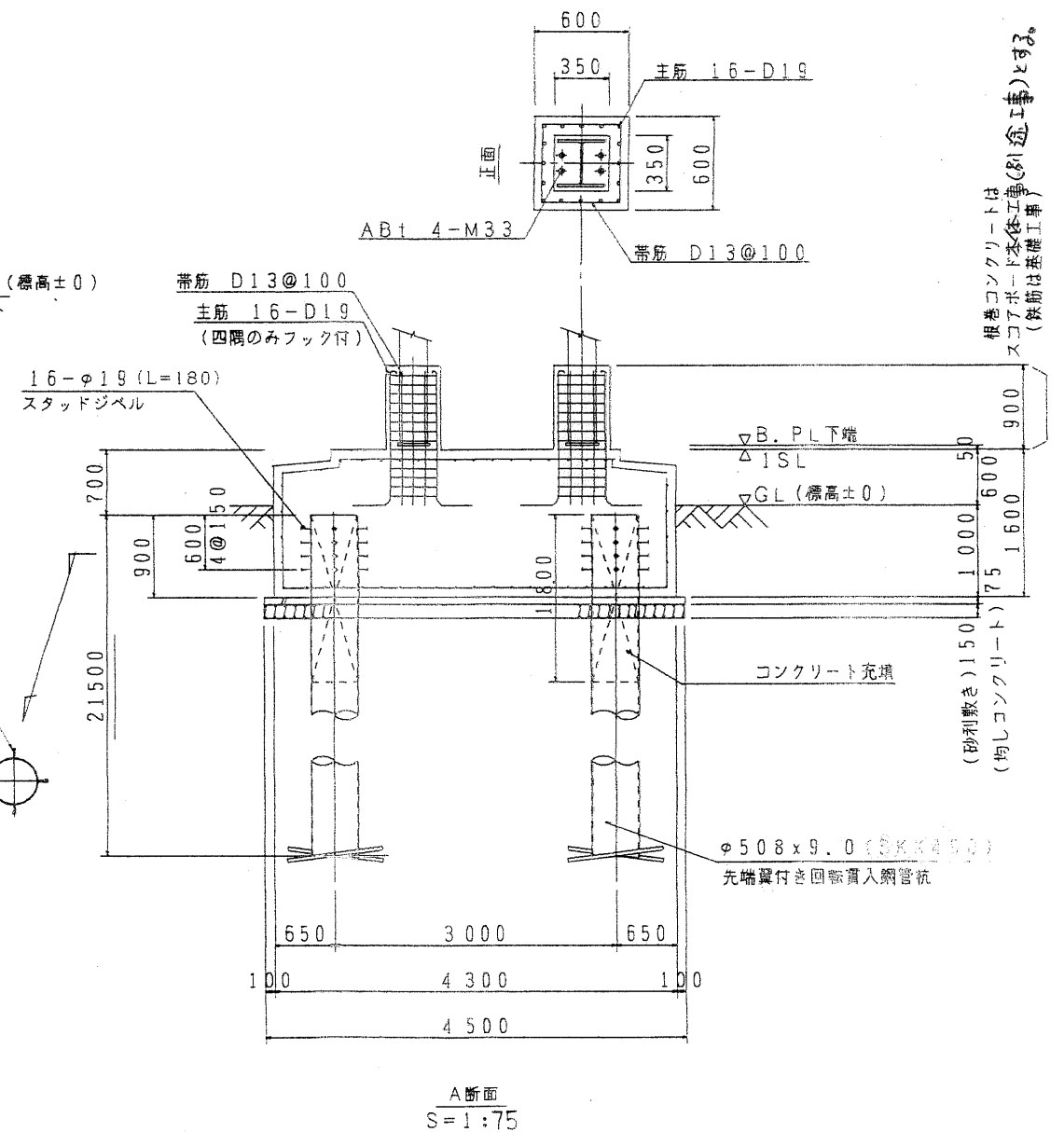
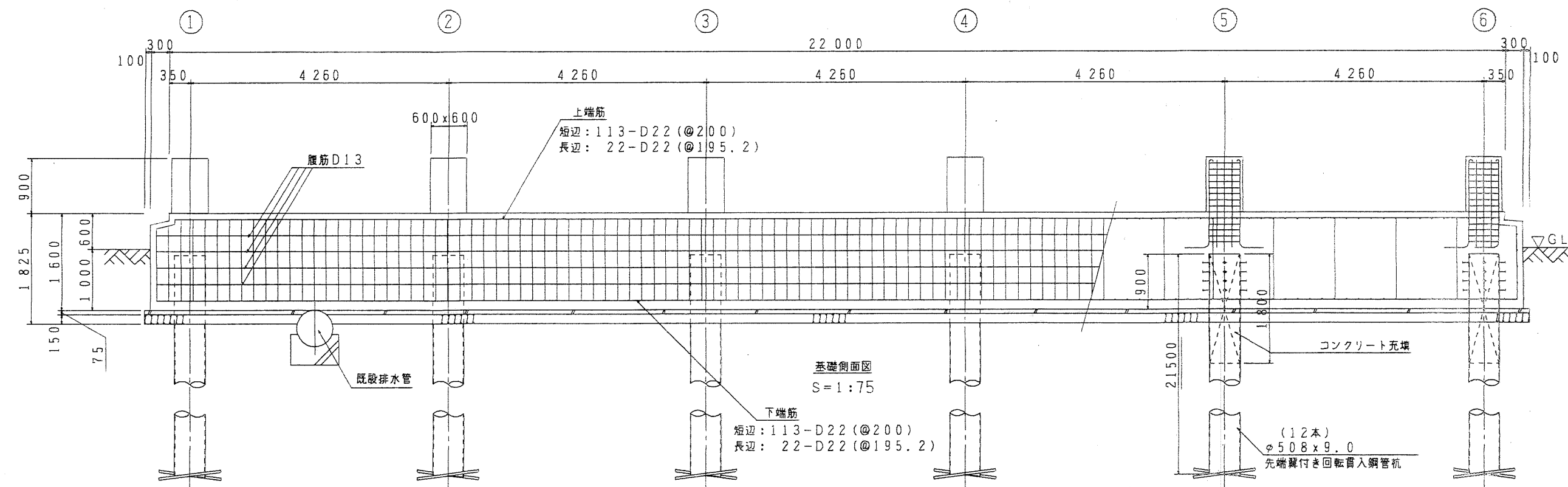
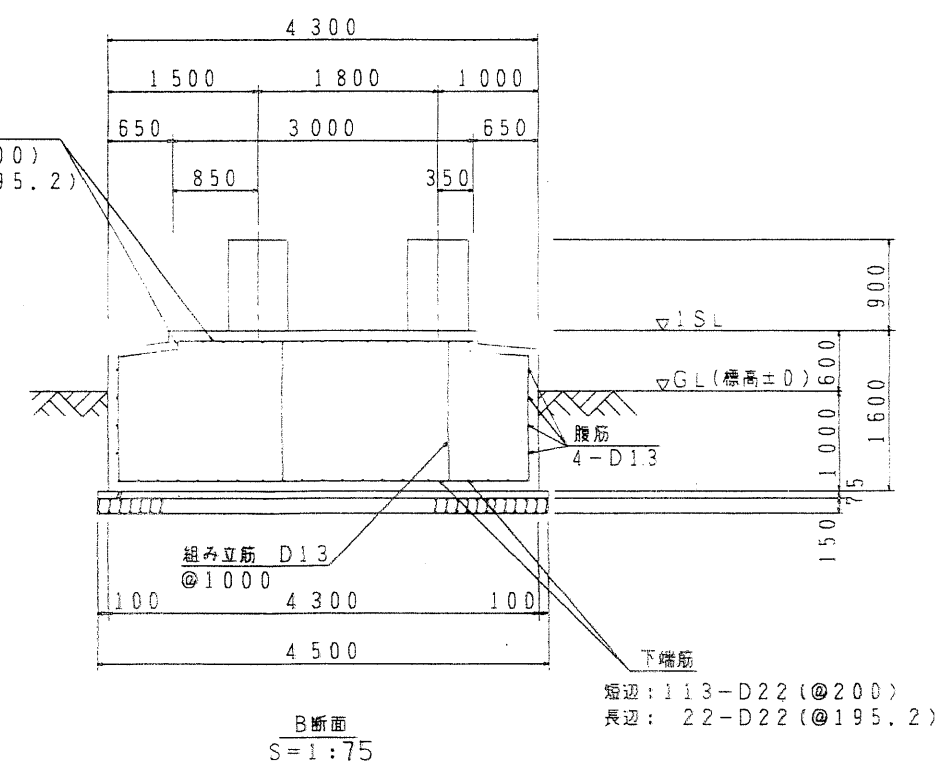
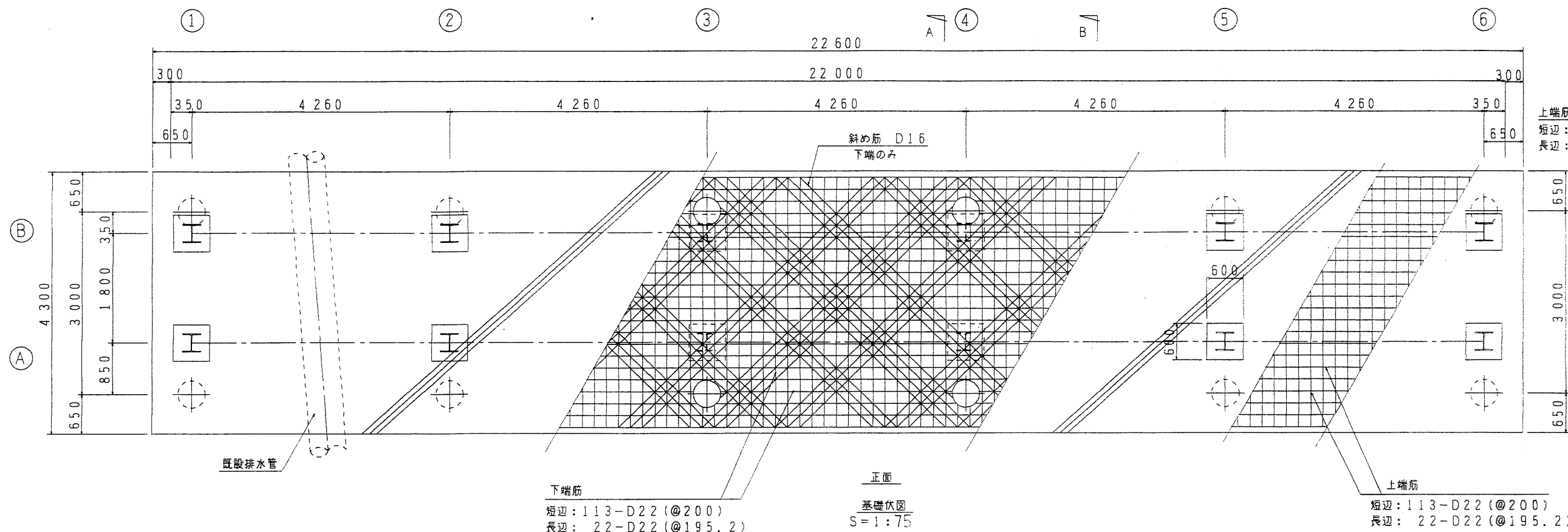
新設擁壁配筋図



新設、既存重力式擁壁取合面図



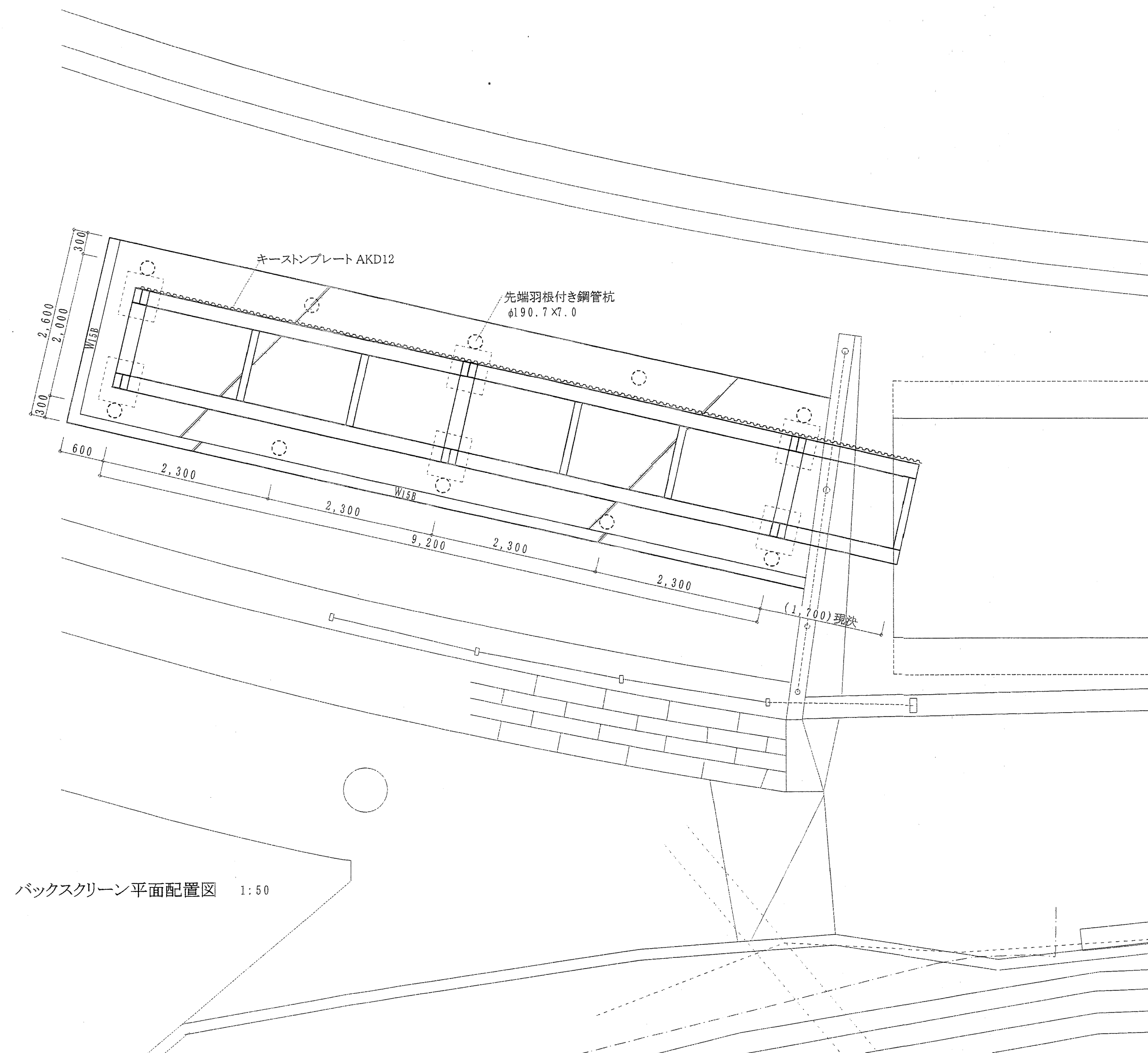
新設階段配筋図



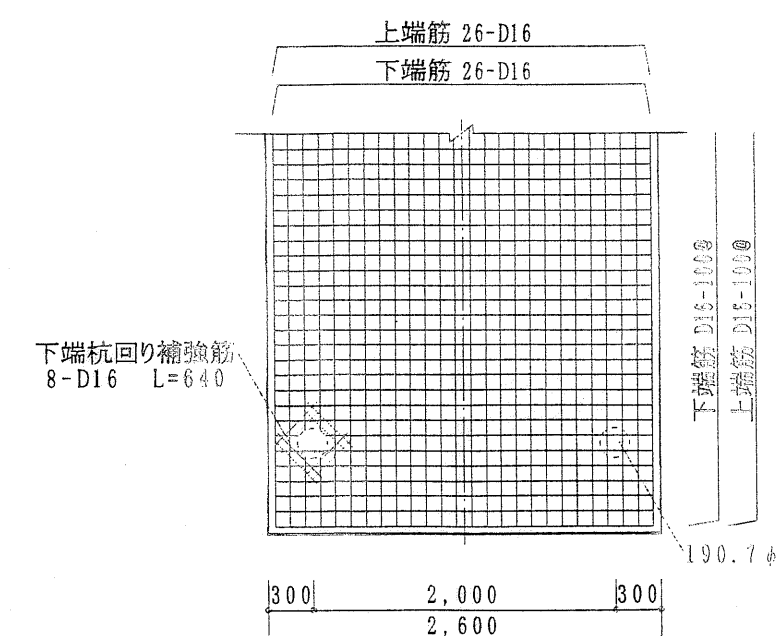
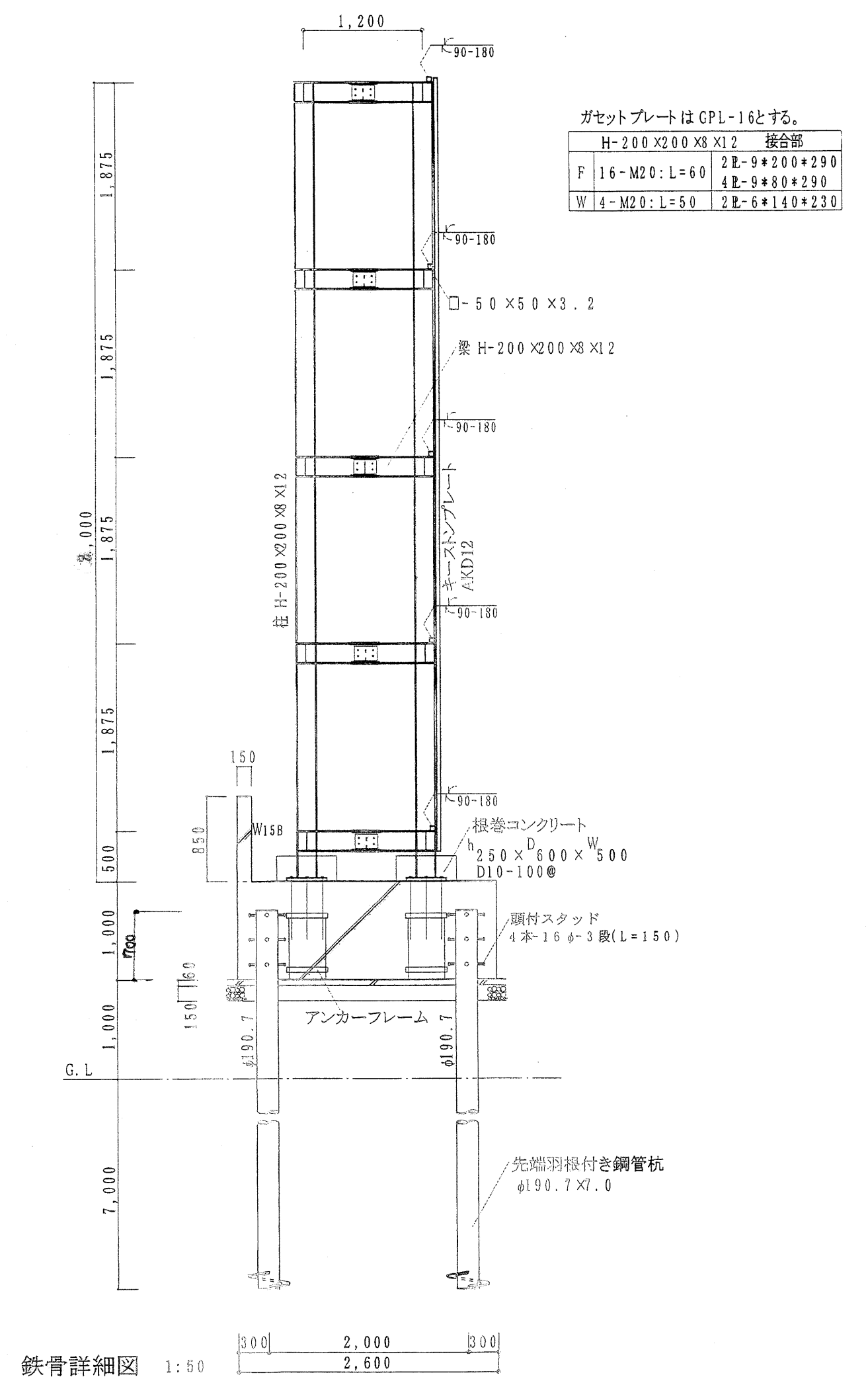
1. 施工法: 先端翼付き回転貫入鋼管杭
2. 設計許容支持力 (長期2268kN/本・短期3397kN/本)
3. 設計許容引抜き抵抗力 (短期425kN/本)
4. 参考ボーリングデータ No. 1ヨリ

※アンカーボルト据え付け完了時には、別途スコープボード本体工事の監督職員の立会いのもと設置位置の確認を行うこと。

高知市都市整備部建築課			
図主	監製	監査	印

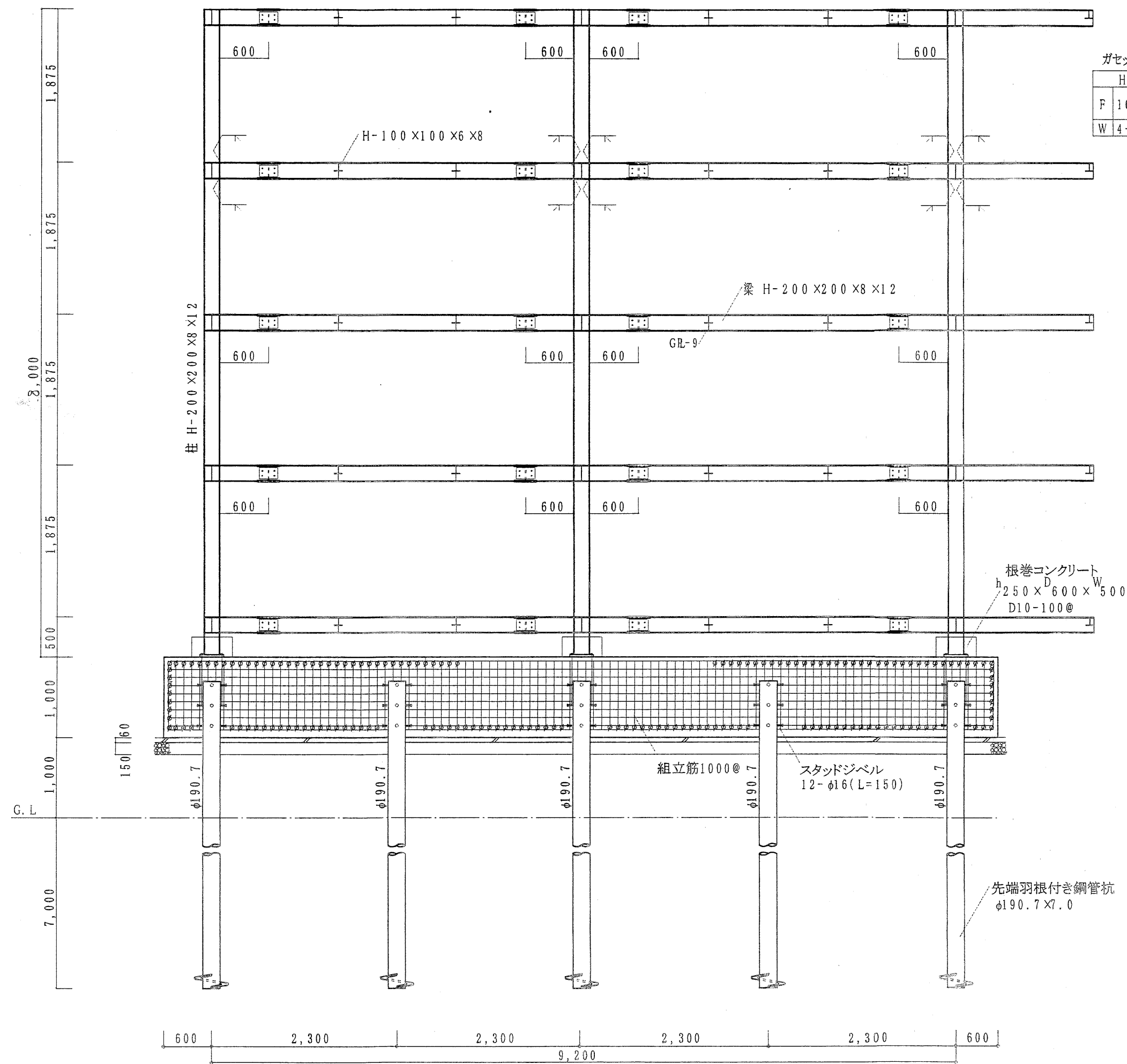


- 杭は先端羽根付き鋼管杭とし、杭径は $\phi 190.7 \times 7.0$ 、鋼材は STK400 とする。
- 鉄骨は SS400 とする。
- 鉄骨は溶融亜鉛メッキ処理とする。
- 特記なき高力ボルト (F8T) は M16 とする。
- 立ち上がりの壁は W15B とし、配筋は D10-100@ とする。(円形・円筒・シングル配筋)
- 根巻コンクリートの配筋は D10-100@ とする。

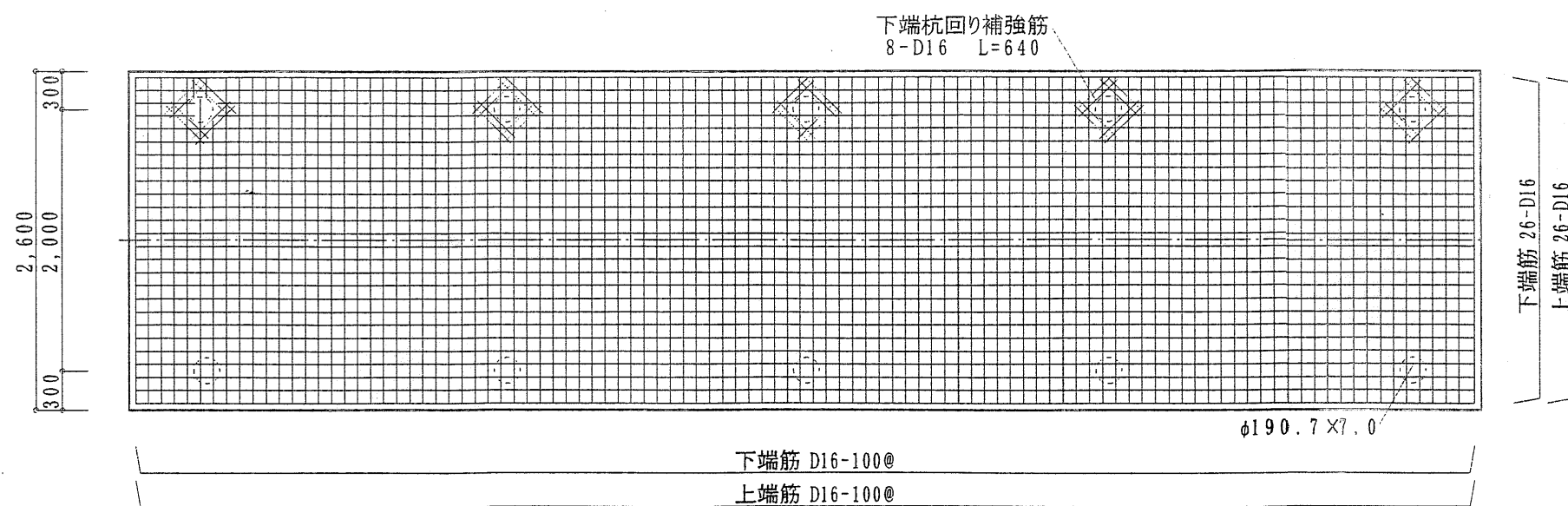


ガセットプレートは GPL-16 とする。

H-200×200×8×12		接合部
F	16-M20: L=60	2E-9*200*290 4E-9*80*290
W	4-M20: L=50	2E-6*140*230



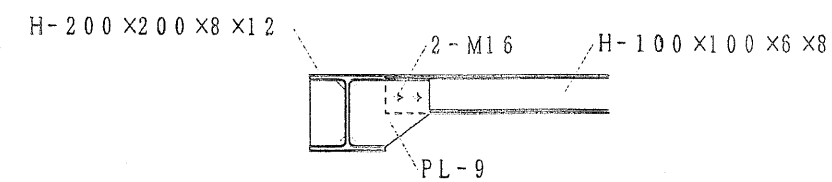
鉄骨及び基礎詳細図 1:50



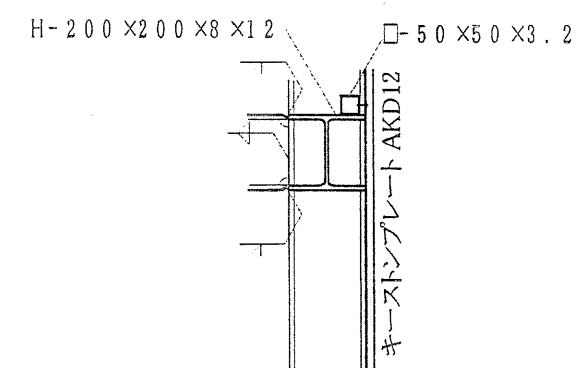
基礎詳細図 1:50

ガセットプレートはGPL-16とする。

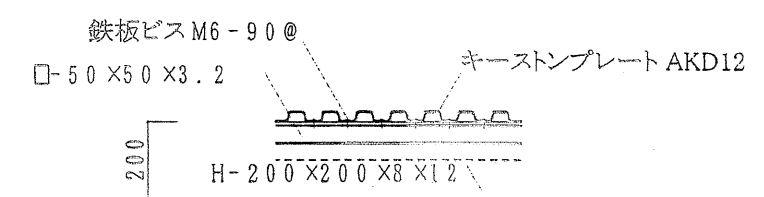
	H-200×200×8×12	接合部
F	16-M20: L=60	2E-9*200*290 4E-9*80*290
W	4-M20: L=50	2E-6*140*230



小梁接合部 1:20

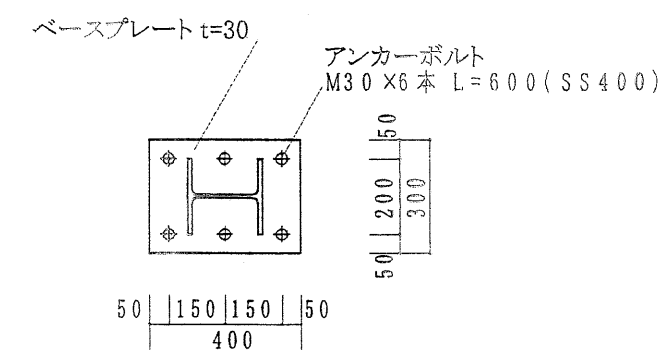


断面

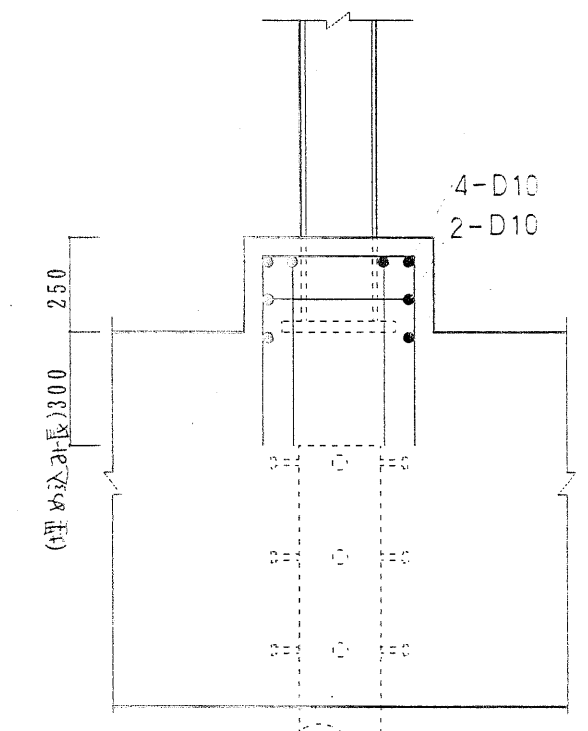


平面

キーストンプレート接合部 1:20

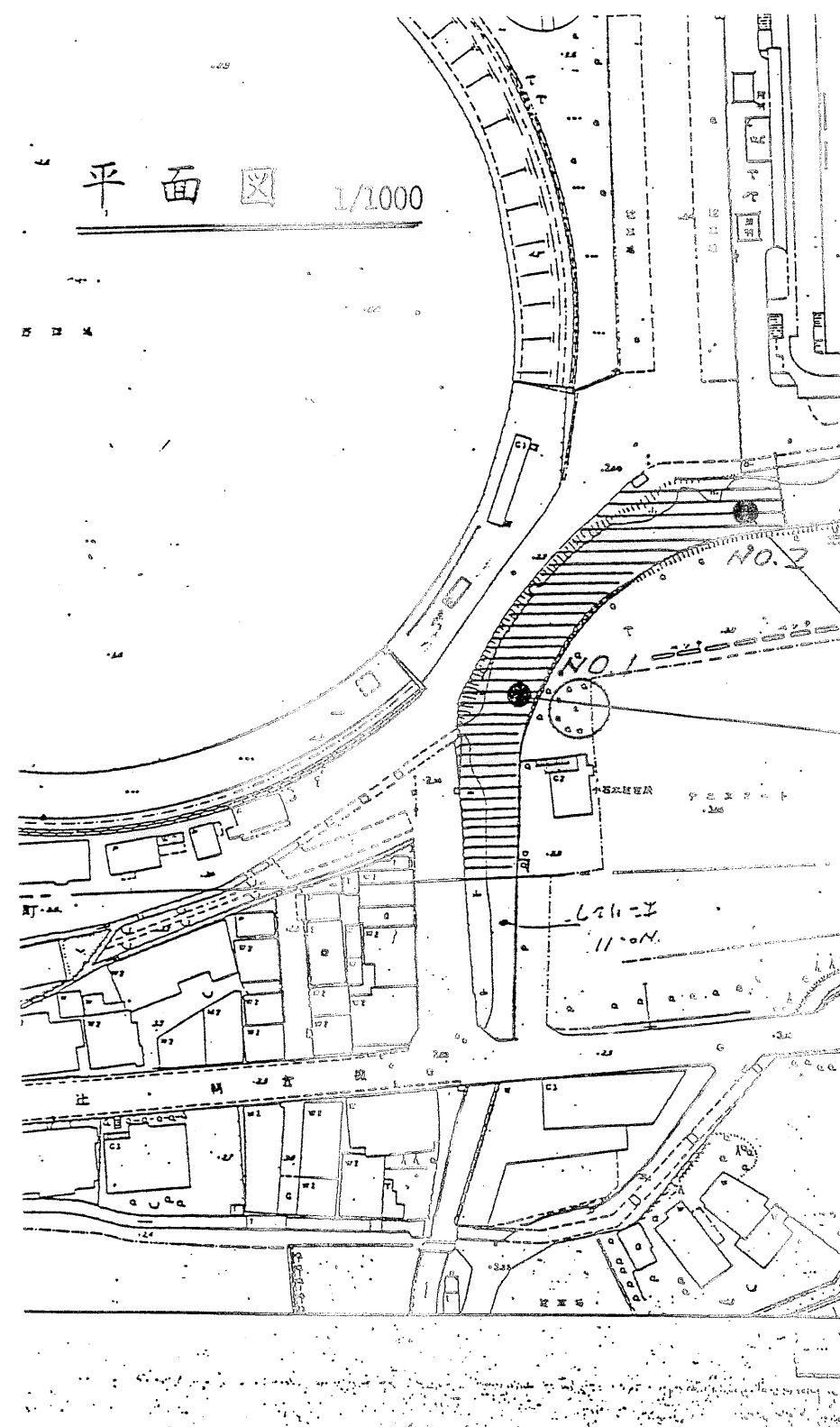


柱脚詳細図 1:20



根巻コンクリート配筋詳細図 1:20

- 杭は先端羽根付き鋼管杭とし、杭径は $\phi 190.7 \times 7.0$ 、鋼材は STK400とする。
- 鉄骨は SS400とする。
- 鉄骨は溶融亜鉛メッキ処理とする。
- 特記なき高力ボルト(F8T)はM16とする。
- 立ち上がりの壁はW18とし、配筋はD10-100@とする。(タテ・ヨコ共・シングル通配筋)
- 根巻コンクリートの配筋はD10-100@とする。

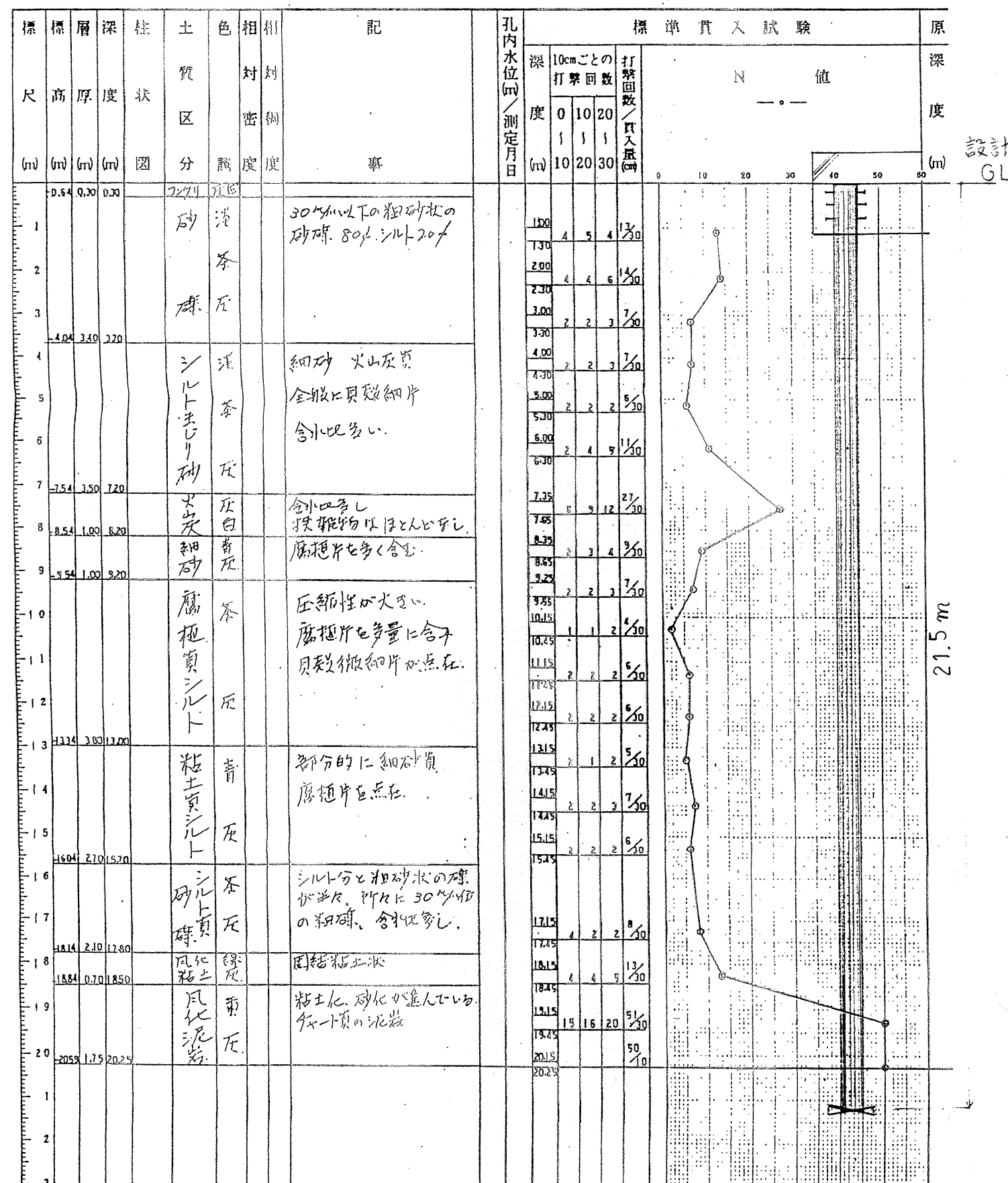


参考ボーリング位置図と番号

ボーリング柱状図

調査名 高知市総合運動場南入口架橋工事に伴う
事業・工事名 地質調査委託業務

ボーリング名	No. 1 (上流側)	調査位置	
発注機関		調査期間	
調査業者名	電話 ()	主任技師	現 場 代 理 人
孔口標高	-0.34 m	方 向	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°
総掘進長	m	地盤勾配	鉛直 90°
		使用機	エンジン
		試験機	ハンマー落下用具
		ポンプ	



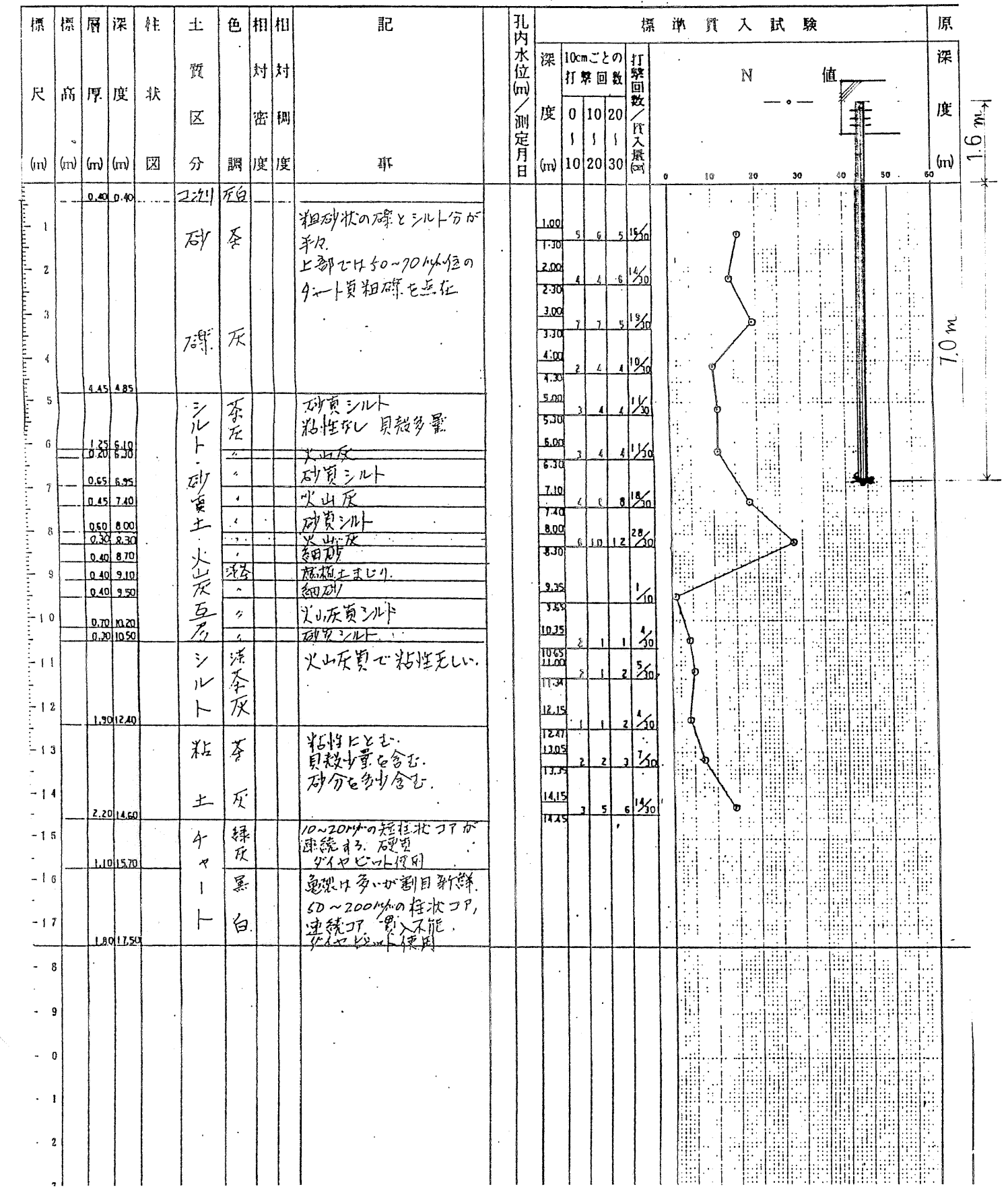
スチールボード用基石礎

NO.1 参考ボーリング柱状図と先端羽根付き回転貫入鋼管杭深度
φ508×9.0

ボーリング柱状図

調査名 高知市総合運動場南入口架橋工事に伴う地質調査
事業・工事名 委託業務

ボーリング名	No. 2 (下流側)	調査位置	
発注機関		調査期間	
調査業者名	電話 ()	主任技師	現 場 代 理 人
孔口標高	-0.35 m	方 向	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°
総掘進長	m	地盤勾配	鉛直 90°
		使用機	エンジン
		試験機	ハンマー落下用具
		ポンプ	



バックスクリュー用基石礎

NO.2 参考ボーリング柱状図と
先端羽根付き回転貫入鋼管杭深度
φ190.7×7.0